

令和5年度
埼玉大学
特別選抜学生募集要項

総合型選抜

経済学部（昼間コース）・理学部・工学部

学校推薦型選抜

教養学部・教育学部・理学部・工学部

不測の事態が生じた場合における本学からの情報提供について

新型コロナウイルス感染症関連などの影響、公共交通機関の乱れや自然災害の影響などにより、所定の試験日程や入学者選抜方法による試験実施が困難となるような不測の事態が生じた場合は、試験日程や入学者選抜方法を変更した上で、入学者の選抜を行うことがあります。

変更が生じた場合は、埼玉大学ホームページ
(<http://www.saitama-u.ac.jp>)にてお知らせいたします。

令和4年7月

目 次

I	学生募集の日程	2
II	入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	4
III-A	【総合型選抜】経済学部（昼間コース）	8
III-B	【総合型選抜】理学部	11
III-C	【総合型選抜】工学部	13
IV-A	【学校推薦型選抜】教養学部	15
IV-B	【学校推薦型選抜】教育学部	17
IV-C	【学校推薦型選抜】理学部	34
IV-D	【学校推薦型選抜】工学部	36
V	障がい等のある入学志願者の事前相談について	39
VI	最終合格者の発表及び入学手続等	39
VII	検定料の免除	41
VIII	入試情報の開示	41
IX	個人情報の保護について	41
X	入試情報ホームページ	42
XI	学生宿舎について	42
XII	インターネット出願について	43
XIII	受験票のダウンロード	47
XIV	合否照会システムの利用方法について	49

I 学生募集の日程

※ 合格者又は入学手続き者が募集人員に満たない場合は、その不足した人員を一般選抜の募集人員に加えます。

経済学部（昼間コース）総合型選抜

学 科	募集人員	大学入学 共通テスト	出願期間	選抜期日	合格発表	入学手続
経済学科	15名	課す(注)	11/1-7	11/19	2/10	2/17

(注) 第1次選抜合格者は、令和5年度大学入学共通テストのうち、{国語(近代以降の文章のみ利用)、地理歴史又は公民(「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、『倫理、政治・経済』の4科目から1科目)、数学(「数学I・数学A」、「数学II・数学B」の2科目必須)、英語(リーディング及びリスニング)}の4教科から3教科以上を必ず受験してください。受験しない場合は失格となります。

理学部総合型選抜

学 科	募集人員	大学入学 共通テスト	出願期間	選抜期日	合格発表	入学手続
生体制御学科	6名	課さない	9/1-8	講義 10/14、21 面接11/19	12/6	12/15

工学部総合型選抜

学 科	募集人員	大学入学 共通テスト	出願期間	選抜期日	合格発表	入学手続
情報工学科	5名	課さない	9/1-8	講義10/28 、11/4 面接 10/15	12/6	12/15

教養学部学校推薦型選抜

学 科	募集人員	大学入学 共通テスト	出願期間	選抜期日	合格発表	入学手続
教養学科	20名	課さない	11/1-7	11/19	12/6	12/15

教育学部学校推薦型選抜

募集単位		募集人員	大学入学 共通テスト	出願期間	選抜期日	合格発表	入学手続		
学校教育 教員養成課程	小学校 コース	教育学専修	6	課さない	11/1-7	11/19-20	12/6	12/15	
		心理・教育実践学専修	14	課す(注1)			2/10	2/17	
		言語文化専修	国語分野	2			課さない	12/6	12/15
			英語分野	2			課す(注1)	2/10	2/17
		社会専修	10	課す(注1)					
		自然科学専修	算数分野	3			課す(注2)		
			理科分野	5			課す(注1)		
		芸術専修	音楽分野	5			課す(注1)		
	図画工作分野		1	課す(注1)					
	身体文化専修	4	課さない	12/6			12/15		
	生活創造専修	ものづくりと情報分野	1	課す(注1)			2/10		
		家庭科分野	3	課さない			12/6	12/15	
	中学校 コース	言語文化専修	国語分野	2			課さない	12/6	12/15
			英語分野	2			課す(注1)	2/10	2/17
		社会専修	2	課す(注1)					
		自然科学専修	数学分野	2			課す(注2)		
理科分野			3	課す(注2)					
芸術専修		音楽分野	2	課さない	12/6	12/15			
	美術分野	2	課さない						
身体文化専修	3	課さない							

生活創造専修	技術分野	1	課す(注2)	2/10	2/17
	家庭科分野	2	課さない	12/6	12/15
乳幼児教育コース		5	課さない	2/10	2/17
特別支援教育コース		2	課す(注1)	2/10(注3)	2/17
養護教諭養成課程		5	課す(注4)		

(注1) 令和5年度大学入学共通テストにおいて、21頁(注2)に記載された科目を必ず受験してください。受験しない場合は失格となります。

(注2) 令和5年度大学入学共通テストにおいて、21頁(注3)に記載された科目を必ず受験してください。受験しない場合は失格となります。

(注3) 第1次選抜の合格発表は12/6(火)14:00に教育学部ホームページ(<http://www.saitama-u.ac.jp/edu/>)で行います。

(注4) 第1次選抜合格者は、第2次選抜として、21頁(注2)に記載された令和5年度大学入学共通テストの科目を必ず受験してください。受験しない場合は失格となります。

理学部学校推薦型選抜

学 科	募集人員	大学入学 共通テスト	出願期間	選抜期日	合格発表	入学手続
基礎化学科	5名	課す(注)	11/1-7	11/19	2/10	2/17

(注) 令和5年度大学入学共通テスト[3教科5科目]{数学I・数学A、数学II・数学B、理科(化学)、理科(物理、生物、地学から1)、外国語(英語(リーディング及びリスニング))}を必ず受験してください。受験しない場合は失格となります。

工学部学校推薦型選抜

学 科	募集人員	大学入学 共通テスト	出願期間	選抜期日	合格発表	入学手続
環境社会デザイン学科	10名	課す(注)	11/1-7	11/19	2/10	2/17

(注) 令和5年度大学入学共通テスト[3教科4科目]{数学I・数学A、数学II・数学B、理科(物理)、外国語(英語(リーディング及びリスニング))}を必ず受験してください。受験しない場合は失格となります。

Ⅱ 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

首都圏の一角を構成する埼玉の地で、ひとつのキャンパスに全学部が集まる総合大学として、埼玉大学は多様な個性が行き交い、融合する場として発展することを目指しています。私たちの下で学んだ卒業生が主体的にこの機会を活かし、知の継承を支える人に育つことを期待します。

社会を構成する組織と活動はますます広域化・複雑化しており、多くの人や組織をひとつの目的に向けて協力させることは困難になる一方で、切実に必要とされています。埼玉大学は実験報告や演習などを通じて知を伝え合う教育や、英語など国際化教育のために多くの資源を割いていますが、自分が確かな専門性を持ってこそ、交流による相互貢献も豊かなものになります。専門的な知を得ること、それを伝え、また受け入れること、そしてその全体を主体的に推し進めることの全てが大切です。

埼玉大学の各学部では、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に沿った多様な教育を実施し、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に沿った厳格な卒業認定を行います。埼玉大学及び入学する学部について、ふたつのポリシーを理解し、自らが学ぶ場として主体的に選んでくれることを、全ての入学者に希望します。

多様性は現代の大学に課された重要課題です。大学もまたひとつの社会なので、教職員も含め全ての参加者が国籍や性別、ハンディキャップの有無に関わらず、互いに尊重し合う方法を学ばなければなりません。

埼玉大学は、キャンパスに多様な知性が輝き融合するよう、各学部・学科等において様々な条件の入試を課します。

【教養学部】

教養学部では、次のような人材の育成を目指します。

教養学部は、グローバル・ガバナンス、現代社会、哲学歴史、ヨーロッパ・アメリカ文化、日本・アジア文化の5専修より構成され、人文学・社会科学の伝統・成果の継承と、多様な文化や価値観の理解を深めるための教育・研究を行っています。自ら問題を設定し解決する能力と、国内外の人々との的確なコミュニケーション能力を身につけて現代の諸問題に適切に対処し、解決の展望を切り拓ける人材の育成を目標としています。

教養学部では、次のような知識の修得、能力の獲得を目指した教育を行います。

- ① 人文学、社会科学、自然科学に関する幅広い基礎知識
- ② 人文学、社会科学の専門分野（グローバル・ガバナンス、現代社会、哲学歴史、ヨーロッパ・アメリカ文化、日本・アジア文化）における十分な知識と能力
- ③ 国際的視野を持ち、国内外の多様な文化及び価値観を理解する能力
- ④ 自ら問題を設定して論理的に考察し、表現する能力
- ⑤ 国内外の人々との的確に意思を疎通できる能力

教養学部では、次のような人が入学することを望んでいます。

- ① 高等学校までの課程の教育内容を幅広く修得している人
- ② 自らを高め、社会に貢献する意欲と経験のある人
- ③ 様々な地域・時代の人々及びその文化に関心と敬意を抱ける人
- ④ 英語をはじめとする外国語を修得する意欲のある人

【経済学部】

経済学部では、私たちの下で学んだ卒業生が次のような人に育つことを期待します。

- ① 自らの感性を生かし、すすんで問題を発見し、その解決方法を探究できる人
- ② 国際的視野をもち、社会に積極的に意見を発信し、貢献することができる人
- ③ 自らの教養と専門的知見を、卒業した後も積極的に高めていくことができる人

経済学部では、次のような知識、能力などの獲得を目指した教育を行います。

- ① 社会科学に関する幅広い基礎知識と、各専門分野（経済分析、国際ビジネスと社会発展、経営イノベーション、法と公共政策）についての体系的で深い専門的知識
- ② 疑問を学びにつなげ、目的に沿って学びをデザインする能力（必修科目「アカデミック・スキルズ」など）
- ③ 国際的視野に裏打ちされた対話能力（プレゼミ、演習など）
- ④ 自ら問題を発見・探求し、その成果を整合的にまとめ、効果的に発信できる能力（卒業研究）

経済学部では、次のような人が入学することを望んでいます。

- ① 高等学校までに学ぶべきことがらを幅広く修得し、入学後に必要な基礎学力を有している人
- ② 国内外の社会のさまざまな問題に対して旺盛な好奇心や知的関心をもち、それらを学ぶ意欲が高い人
- ③ 自分の将来像を思い描き、その中に経済学部で学ぶ意味を位置づけられる人
- ④ 幅広い教養と社会科学の専門的知見を身につけて、社会に貢献したいと考えている人
- ⑤ 自らの知識や経験を生かして、生涯にわたり自分自身をさらに発展させようと考えている人

経済学部では、入学する皆さんに次のような学修姿勢を期待します。

- (1) 基礎学力の修得
 - ・思考を明瞭にし、人に正しく伝える基礎的な力として、意味を明確に理解して使いこなせる豊かな語彙を蓄えること。
 - ・断片的な知識の後ろにある一般的な論理や構造に関心を持ち、ある事柄が正しいと認めるときは、そのための条件や前提を合わせて理解すること。
- (2) 国内外の社会への関心を養うこと
 - ・社会の諸現象について、過去の例、他地域・他産業の例などとの比較の視点を持ち、そこから学べる点を自分の言葉にまとめ直して、すぐ取り出せるようにしておくこと。
 - ・ひとつの問題を複数の立場（利害関心）や複数の社会的な望ましさからとらえ、それらの対立点を理解し、複合的に問題を見る練習をすること。
- (3) 論理的思考力・表現力及びその基礎となる読解力の修得
 - ・主張の根拠とその確からしさを意識し、相対的・客観的な見方によって議論を整理できるようになること。
 - ・文章やデータなどの判断材料に基づき、正しいかどうかを客観的に判断する多様な方法を身につけ、具体的な問題に応用できるようになること。
 - ・文章構成（論理の流れ、段落分けなど）を意識した、平明に論旨が伝わる文章が書けるようになること。

【教育学部】

教育学部では、次のような人に育つことを期待します。

教育学部は幼稚園（認定こども園を含む）・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校など、様々な学校で活躍する教員を育成するための学部です。教育学部における学びを通じて、確かな学力を有した力量ある質の高い教員に育つことを目標とします。そのために必要な資質・能力として、まず、豊かな人間性や社会性、主体的に行動する態度、常に学び続ける姿勢などが育まれることを期待します。その上で、教育の場で出会う多様な人々との関りの中で問題を解決していく力と、各教科・諸学に関する高い専門性と教員としての幅広い知識・実践力というふたつの力量を統合させた人材が育成されることを期待します。

教育学部では、次のような知識の修得、能力の獲得などを目指した教育を行います。

- ① 人文学・社会科学・自然科学を通じた幅広い教養・知識
- ② 教育に携わる人が身につけておくべき幅広い基礎知識
- ③ 教育の諸分野（教育に関する諸分野・各教科に関する様々な学問）に関する専門的な知識・技能
- ④ 問題の答えを主体的に探し求めるのに必要な思考力・判断力・表現力
- ⑤ 教育の場における高度な実践的指導力
- ⑥ 豊かな人間性を有し、多様な人々との相互理解を通じて協働できる人間力

教育学部では、次のような人が入学することを望んでいます。

- ① 幼児・児童・生徒の個性を伸ばし、社会を生き抜く力を育む教職への意欲・情熱・使命感がある人
- ② 幅広い教育に対する問題への関心の中に、自分の探求したい得意分野がある人
- ③ コミュニケーション能力や表現力が豊かで、相手の立場に立って考え、周囲と協調して行動できる人
- ④ 高等学校までに学ぶべき事項を幅広く修得し、入学後、専門的な知識・技能を理論と実践の両面にわたって修得するために必要な、諸教科の学力や実技能力を有している人
- ⑤ 入学後の学修において必要となる、様々な諸問題に柔軟に対応できるだけの確かな学力を有している人

【理学部】

理学部では、次のような人を育成することを目指しています。

理学とは広く数学・物理・化学・生物・地学にわたる自然科学を対象として、その謎を解き明かし、自然現象の把握に有効な概念を確立し、その現象を支配する法則を発見し、それを活用・応用していく英知を持って広く社会の進歩に貢献することを目指す学問分野です。理学部には、これらの基礎的な自然科学分野を網羅し、その関連性も重視した5学科（数学科・物理学科・基礎化学科・分子生物学科・生体制御学科）が設置されています。

理学部では、学士課程学生（以下、学生）が、自らが専攻する専門分野を、基礎から応用へ向けて段階的に学び、専門知識と思考力・探求力・問題発見及び解決力を修得・獲得することを目指します。また理学部では、学生が専攻する専門分野を超えて、広く自然科学分野の知識と思考力を修得し、加えて人文学、社会科学、現代テクノロジー分野についても幅広い基本的知識を身につけ、自らが修得した知識を活用できる汎用的な能力や国内外の人々とのコミュニケーション能力を身につけた人材を育成することを目指しています。

理学部では、このような知識を修得し、能力・技能を獲得した学生が社会の様々な分野に進出したのちに客観的な判断力と合理的な決断力を発揮できる人材として活躍すること、あるいは大学院に進み、高度な研究環境のもとでさらなる研究能力の向上に研鑽し、その学問分野の理解を深め、研究者や高度専門職業人として社会をリードし、中核となって活躍する人材として成長することを期待します。

理学部では、次のような知識の修得、能力などの獲得を目指した教育を行います。

理学部では入学した学生を、「育成したい人材像」に向けて育成するために、以下の知識・能力・技能を修得・獲得するための教育を行います。

- ① 自然科学の専門分野に対する十分な知識と思考力、問題発見及び解決能力
学生が所属する学科が開講する講義・実験・演習・実習等の授業を受講し、専攻する専門分野を基礎から応用へ向けて段階的に学ぶことにより、専門知識と思考力・探求力・問題解決力・分析力を高度に深化・育成する教育を行います。
- ② 自然科学に対する幅広い基礎知識
専攻する専門分野を超えて、理学部他学科等が開講する授業を受講することにより、広く自然科学に関する知識とそれを踏まえた思考力を修得する教育を行います。
- ③ 人文学、社会科学、現代テクノロジー、情報機器に関する基本的理解・技能
基盤科目群の授業等を受講することにより、社会人として身につけておくべき基礎知識・技能の修得、またそれを生かした思考力を育成する教育を行います。
- ④ 知識を活用できる汎用的な能力、国内外の人々との確に意思疎通できるコミュニケーション能力
理学部や各学科が開講する関連授業を受講することにより、理工系人材として、専門知識以外の身につけるべき能力の獲得と向上を目指す教育を行います。

理学部では、次のような人が入学することを期待します。

自然科学の各分野に関わり、強い知的な好奇心と探求心を有することは、学士課程で理学を学び、継続的に自己を磨き進化させていくための原動力です。理学部で学ぼうとする皆さんには入学時において、

- ① 自然科学の学問分野に関心を持ち、その分野の専門知識を主体的に学習し、修得することに強い好奇心と熱意を持っていること。
- ② 「理学部の入学者受入れの方針」に書かれた理念に共感するとともに、その方針に従い学修に努め、将来、学士あるいは修士・博士課程を修めた、自然科学分野の専門性を有する社会人として、様々な分野で社会に貢献しようとする志を持っていること。

これらに加えて、入学までに身につけておいてほしいことは以下の点です。

- ③ 入学後の理学部各学科での学修で必要となる数学、理科について、高等学校学習指導要領に基づき「学ぶべき事項」を幅広く修得していること。加えて、英語、国語は自然科学の研究活動における国際的な共通言語として、また論理的な文章の作成のための素養として不可欠であり、これらの語学能力を今後さらに発展させるために十分な基礎力を入学時に有すること。
- ④ 高等学校における数学、理科に関わる実験・演習、若しくは課外活動は、自然科学を学ぶ上で必要な論理的思考力や分析力・判断力を育むために有効な取り組みです。加えて、協働して実験・演習などの課題に取り組む経験はコミュニケーション能力の向上に有効であり、また、実験や実習・演習の過程・成果を説明・記述する作業は、表現力の向上に役に立つと考えられることから、これらの諸活動に積極的に参加することを推奨します。

【工学部】

工学部では、次のような人を育成することを目指しています。

工学部は、自然科学、人文・社会科学等に対する幅広い教養と知識を有し、専門分野における十分な知識と能力を備え、次代の我が国及び世界の産業社会を担う優れた技術者を養成することを目的としており、機械工学・システムデザイン学科、電気電子物理工学科、情報工学科、応用化学科、環境社会デザイン学科の5つの専門教育プログラム（学科）で構成されています。また、専門教育において修得した基礎的な知識・能力を活かして、大学院に進学し、高度技術者、研究者への道を歩むための能力を身に付けるとともに、豊かな教養と社会的責任を自覚できる倫理観を有し、実践的な企画・立案ができる人材を育てることを目指しています。

工学部では、次のような知識、能力などの修得を目指した教育を行います。

- ① 人文・社会科学に対する幅広い教養と知識
- ② 工学の基礎及び各専門分野における十分な知識と能力
- ③ 課題を探求・発見し解決する実践的能力
- ④ 国際的視野とコミュニケーション能力
- ⑤ 多様な人々と協調し、主体的に行動する資質
- ⑥ 科学技術が社会や自然に及ぼす影響、技術者・研究者の社会的責任を理解できる倫理観

工学部では、次のような人が入学することを望んでいます。

- ① 高等学校までに学ぶべき事項を幅広く修得しているとともに、入学後の学修において特に必要となる数学、理科、英語の基礎学力を有している人
- ② 国際的なプレゼンテーションやコミュニケーションの能力を修得するために必要な基礎学力を有している人
- ③ 知識を応用問題に活かすために、論理的思考ができる人
- ④ 工学の問題に関して知的好奇心が旺盛で、自ら学ぼうとする学修意欲のある人
- ⑤ 専門技術者として、グローバルな視点に立って国際社会に貢献する意欲のある人
- ⑥ 問題を整理し、解決方法を見出して、それを実践する意欲を有する人
- ⑦ 幅広い分野・世代の人との議論及び共同作業によって目的を達成する意欲を有する人

Ⅲ－A 【総合型選抜】経済学部（昼間コース）

1 総合型選抜を実施する学科及び募集人員

学 科	募 集 人 員
経済学科	15名

2 出願資格及び要件

次の各条件を満たす者としてします。

- (1) 高等学校又は中等教育学校の後期課程を、令和4年4月から令和5年3月までに卒業又は卒業見込みの者で、合格した場合に入学を確約できる者
- (2) 高等学校又は中等教育学校の後期課程における調査書中、全体の評定平均値が3.8以上の者
- (3) 次のいずれかの英語民間試験で、下記以上のスコアを取得した者

※ 英語民間試験の成績は、出願時までの2年以内に受験し、取得したスコアに限ります。

- ・ケンブリッジ英語検定 140 ※リಂಗスキルを含みます。
- ・実用英語技能検定 1950
- ・GTEC (Advanced, Basic, CBT) 960 ※4技能オフィシャルスコアに限ります。
- ・IELTS (アカデミック・モジュール) 4.0
- ・TEAP 225
- ・TEAP CBT 420
- ・TOEFL iBT 42
- ・TOEIC L&R / TOEIC S&W 1150 ※TOEIC S&W のスコアを2.5倍にして合算したスコア

<注意事項>

- (1) 本総合型選抜に出願した場合、他の総合型選抜及び学校推薦型選抜へ出願することはできません。ただし、総合型選抜に出願し、第1次選抜で不合格となった場合には、他の総合型選抜あるいは学校推薦型選抜に出願することができます。
- (2) 総合型選抜に出願した者は、国公立大学の「前期日程」・「後期日程」にも出願し、受験することができます。ただし、総合型選抜の合格者で入学手続をした場合は、「前期日程」・「後期日程」を受験しても合格者とはなりません。

3 選 抜 方 法

- (1) 第1次選抜及び第2次選抜にて実施します。

- ① 第1次選抜は、調査書、自己推薦書（志望の理由を含みます。）、小論文及び面接の成績により選考します。
- ② 第2次選抜は、第1次選抜の合格者に対して、大学入学共通テストの指定する4教科・科目で実施し、4教科・科目のうち高得点3教科・科目の合計得点率により選考します。なお、3教科・科目のみの受験も可とします。指定する教科・科目は以下のとおりです。

- ・ 国語（近代以降の文章のみを利用）
- ・ 地理歴史又は公民（のうち「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、『倫理、政治・経済』4科目から1科目（ただし、2科目受験のときは第1解答科目の成績を採用））
- ・ 数学（「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」の2科目必須）
- ・ 外国語（英語（リーディング及びリスニング））

- (2) 配点

大学入学共通テスト（3教科・科目を選択し合計600点）				小論文	面接
国語	地理歴史又は公民	数学	外国語(英語)		
200	200	200	200	200	200

※大学入学共通テストの配点にあたっては、上記掲載の配点に、以下の方法により換算します。

国語：近代以降の文章を使用した問題を200満点に換算した得点を採用します。

地理歴史又は公民：受験した科目を200点満点に換算した得点を採用します。

数学「数学Ⅰ・数学A」・「数学Ⅱ・数学B」の合計得点をそのまま採用します。

英語：「リーディング（100点）×1.5＋リスニング（100点）×0.5＝200点」に換算します。

リスニング免除者については、「リーディング（100点）×2＝200点」に換算します。

(3) 小論文の出題意図、採点・評価基準

小論文においては、文章を読み、著者の考えを要約又は説明する設問と、それを踏まえて自分の考えを述べる設問を出題します。著者の考えを要約又は説明する設問においては、文章を要約できる理解力、論理的な明晰さ、段落分けなどの文章構成の明確さを中心に知識と思考力の観点から、著者の考えを踏まえて自分の考えを述べる設問においては、論理的整合性、与えられた著者の考えとの対比・関連の明快さ、社会科学や社会の出来事に関連する知識を思考力と主体性の観点から総合的に評価します。

(4) 面接の形式、採点・評価基準

- ・面接は日本語で行います。
- ・形式は個人面接を基本としますが、志願者数により集団面接とする場合もあります。
- ・複数の面接員で実施します。
- ・グループディスカッションは行いません。
- ・面接の採点評価基準：社会科学に広く関心を持ち、思考力があり、積極的に学修する意欲を持っているかを中心に、知識を思考力と主体性・多様性・協働性の観点から総合的に評価します。

(5) 合否判定基準

第1次選抜は、小論文及び面接の得点順により合否を決定します。

総合点が同点の場合は、同順位とします。

ただし、小論文又は面接のいずれかの得点が4割未満の場合は不合格とします。

なお、自己推薦書（志望の理由を含む）及び調査書は選抜の基礎資料とします。

第2次選抜は、大学入学共通テストの指定する4教科・科目のうち高得点3教科・科目の合計得点率が7割以上の者を合格とします。

4 選 抜 日 程

期 日 ・ 日 程 及 び 場 所

第1次選抜 : 令和4年11月19日(土) 埼玉大学経済学部
小論文 10:30 ~ 11:30 (60分)
面接 13:00 ~

第1次選抜 : 令和4年12月6日(火) 経済学部ホームページ (<http://www.eco.saitama-u.ac.jp>)
合格者発表 : 14:00に発表します。

第2次選抜 : 令和5年度大学入学共通テストにおいて、必ず、必要教科・科目を受験してください。受験しない場合は、失格となります。

5 大学入学共通テスト成績請求票（※第1次選抜合格者のみ対象）

大学入試センターより大学入学共通テスト受験票が到着したら、受験票に添付されている「**総合** 国公立総合型選抜用」成績請求票の番号を、本学HP「インターネット出願ページ」で登録し、総合型成績請求票貼付用紙を印刷し、「**総合** 国公立総合型選抜用」成績請求票を貼り、「〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学学務部入試課」宛に令和4年12月21日(水)までに届くよう郵送してください。

6 出 願 手 続

出願方法	出願は、インターネット出願（インターネットによる志願者登録及び出願書類の郵送）のみとします。 43頁「XII インターネット出願について」をよく読み、手続きを行ってください。
出願期間	令和4年11月1日(火)～7日(月) 期間内郵送必着とします。 インターネット出願の登録と入学検定料の納入は、10月25日(火)から可能です。 上記出願期間中に、下記提出書類が本学に到着するよう、簡易書留速達郵便で発送してください。 (ただし、出願期間を過ぎて11月8日(火)正午までに到着した出願書類のうち、11月6日(日)までの発信局消印のある簡易書留速達郵便に限り受理します。)
1 入学志願票	インターネット出願サイト (https://e-apply.jp/ds/saitama-n/) 又は本学HPからアクセスし、志願者登録を行ってください。 顔写真は、出願前3ヶ月以内に正面向、上半身、無帽で撮影した鮮明な写真をアップロードしてください。

提出書類等	<p>2 自己推薦書 (志望の理由を含む)</p> <p>3 調査書</p> <p>4 英語民間試験の成績証明書</p> <p>5 検定料の免除</p>	<p>志願者登録終了後、入学検定料をお支払いください。入学検定料17,000円は、コンビニエンスストア、クレジットカード、郵便局・銀行ATM、ネットバンキングのいずれかでお支払いください。</p> <p>その後、入学志願票、出願書類提出用封筒宛名をダウンロードし、カラー印刷してください。出願書類提出用封筒（市販の角形2号封筒（24cm×33.2cm））は出願書類提出用封筒宛名を貼り付けて作成してください。</p> <p>パソコン等により作成したもの。なお、作成にあたってはA4サイズ1枚、1200字程度、書類上部に氏名と生年月日を記載してください。</p> <p>出身学校長が作成し厳封したもので、最終学年の最新のものまで記載されたもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケンブリッジ英検：認定ステートメント(certifying statement) ・実用技能英語検定：英検CSEスコア証明書 ・GTEC (Advanced, Basic, CBT) : オフィシャルスコア証明書(OFFICIAL SCORE CERTIFICATE) ・IELTS (アカデミック・モジュール) : 成績証明書 (Test Report Form) ・TEAP、TEAP CBT : 成績表 ・TOEFL iBT : Test Taker Score Report ※ETSから本学へ直接送付される「Official Score Reports」は利用できません。 ・TOEIC L&R / TOEIC S&W : 公式認定証(Official Score Certificate) <p>検定料の免除については、41頁「Ⅶ 検定料の免除」を参照してください。</p>
書類提出先	〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学経済学部係	

- (注) 1 提出された書類等の郵送到着確認の問い合わせには一切応じません。
到着確認は、日本郵便Webサイトの郵便追跡サービスを使用してください。(使用時は、簡易書留郵送時に郵便局で発行される受領証に記載されている「問い合わせ番号」が必要です。)
- 2 提出書類等に不備がある場合には、受理しないことがあります。
- 3 提出書類等は、いかなる理由があっても返却しません。また、既納の検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
- (1) 検定料の返還請求ができるもの
 - ア) 検定料を払い込んだが、出願しなかった（出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合
 - イ) 検定料を誤って二重に払い込んだ場合
 - ウ) 出願時に検定料免除を申請し、後日、本学に罹災証明書が提出された場合
 - (2) 返還請求の方法
本学ホームページの入試情報ページより返還請求書(http://www.saitama-u.ac.jp/entrance/exam_info/henkanseikyu.pdf)をプリントアウトし、必要事項を記入のうえ下記送付先へ簡易書留にて速やかに送付してください。
- 送付先** 〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学財務部経理課出納担当
(返還は、返還請求書到着後2ヶ月程度かかる場合があります。)
- 4 インターネット出願で、入力内容の間違いに気づいた場合は、46頁下段の記載内容により対応してください。なお、書類提出後は、記入事項を変更することはできません。ただし、住所・電話番号に変更があった場合には、経済学部係まで連絡してください。
- 5 提出書類等に虚偽の内容があった場合には、入学後でも入学を取り消すことがあります。

Ⅲ－B 【総合型選抜】理学部

1 総合型選抜を実施する学科及び募集人員

学 科	募 集 人 員
生体制御学科	6名

2 出願資格及び要件

次の各条件を満たす者としします。

- (1) 高等学校又は中等教育学校の後期課程を、令和5年3月に卒業見込みの者で、合格した場合に入学を確約できる者
- (2) 高等学校又は中等教育学校の後期課程において生物（又は相当する科目 ※ただし、「生物基礎」は含みません。）を既修又は出願時に履修中の者

<注意事項>

- (1) 本総合型選抜に出願した場合、他の総合型選抜及び学校推薦型選抜へ出願することはできません。ただし、総合型選抜に出願し、第1次選考で不合格となった場合には、他の総合型選抜あるいは学校推薦型選抜に出願することができます。
- (2) 総合型選抜に出願した者は、国公立大学の「前期日程」・「後期日程」にも出願し、受験することができます。ただし、総合型選抜の合格者で入学手続をした場合は、「前期日程」・「後期日程」を受験しても合格者とはなりません。

3 選抜方法・選抜日程

- (1) 入学者の選抜は、大学入学共通テストを免除し、以下の方法により行います。
出願者が18名を超えた場合には、第1次選考を実施する場合があります。第1次選考では、出願時に提出された調査書、志望理由書及び活動報告書をそれぞれ10点満点として評価し、合計点の上位18名程度を合格とします。なお、第1次選考を実施した場合は、令和4年9月30日（金）以降、出願者全員に合否通知書及び必要書類を送付します。
電話による合否結果の問合せには一切応じません。
受験者（第1次選考実施の場合は、合格した受験者）は、埼玉大学構内で行われる講義を2回（令和4年10月14日（金）、10月21日（金）の、各々16時30分から17時30分までの講義）受講し、毎回の講義終了後に与えられる課題に対するレポートを翌週までに提出します。また、毎回の講義終了後、理解力を知るため、小テスト（20分程度）を行います。
選抜は、出願時に提出された調査書、志望理由書、活動報告書、毎回の講義終了後の小テスト、課題に対して提出されたレポート及び11月19日（土）に埼玉大学構内にて行う面接（生物学、英語の口頭試問を含みます。）により総合的に行います。

(2) 選抜日程、配点

区分	検査日時	検査内容	配点	備考（レポート提出期限等）
講義	令和4年10月14日（金） 講義：16時30分から17時30分 小テスト：講義終了後（20分程度）	小テスト	10	令和4年10月21日（金） 17時00分まで 提出先：理学部係 （郵送の場合：締切日当日消印有効）
		レポート	10	
	令和4年10月21日（金） 講義：16時30分から17時30分 小テスト：講義終了後（20分程度）	小テスト	10	
		レポート	10	
面接	令和4年11月19日（土） 13時00分から	面接	60	出願時に提出された調査書、志望理由書及び活動報告書と、生物学、英語の口頭試問を含めて評価します。

(3) 面接の形式、採点・評価基準

- ・形式は個人面接とします。複数の面接員で実施します。
- ・面接は日本語で行い、生物学及び英語に関する口頭試問を含みます。
- ・生物学や英語の基礎学力に加えて、コミュニケーション能力ならびに主体性を評価します。

(4) 合否判定基準

- ・レポート、小テスト及び面接の総合点順に合否を決定します。
- ・総合点が同点の場合は、面接点が高い方を上位とします。

4 出願手続

出願方法	出願は、インターネット出願（インターネットによる志願者登録及び出願書類の郵送）のみとします。 43頁「ⅩⅡ インターネット出願について」をよく読み、手続を行ってください。	
出願期間	令和4年9月1日(木)～8日(木) 期間内郵送必着とします。 インターネット出願の登録と入学検定料の納入は、8月25日(木)から可能です。 上記出願期間中に、下記提出書類が本学に到着するよう、簡易書留速達郵便で発送してください。 (ただし、出願期間を過ぎて9月9日(金)正午までに到着した出願書類のうち、9月7日(水)までの発信局消印のある簡易書留速達郵便に限り受理します。)	
提出書類等	1 入学志願票	インターネット出願サイト (https://e-apply.jp/ds/saitama-n/) 又は本学HPからアクセスし、志願者登録を行ってください。 顔写真は、出願前3ヶ月以内に正面向、上半身、無帽で撮影した鮮明な写真をアップロードしてください。 志願者登録終了後、入学検定料をお支払いください。入学検定料17,000円は、コンビニエンスストア、クレジットカード、郵便局・銀行ATM、ネットバンキングのいずれかでお支払いください。 その後、入学志願票、出願書類提出用封筒宛名をダウンロードし、カラー印刷してください。出願書類提出用封筒（市販の角形2号封筒（24cm×33.2cm））は出願書類提出用封筒宛名を貼り付けて作成してください。
	2 調査書	出身学校長が作成し厳封したもので、最終学年の最新のものまで記載されたもの。
	3 志望理由書	本人が記載してください。【本学HP掲載の様式を利用】
	4 活動報告書	本人が記載してください。【本学HP掲載の様式を利用】
	5 検定料の免除	検定料の免除については、41頁「Ⅶ 検定料の免除」を参照してください。
書類提出先	〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学理学部係	

- (注) 1 提出された書類等の郵送到着確認の問い合わせには一切応じません。
到着確認は、日本郵便Webサイトの郵便追跡サービスを使用してください。(使用時は、簡易書留郵送時に郵便局で発行される受領証に記載されている「問い合わせ番号」が必要です。)
- 2 提出書類等に不備がある場合には、受理しないことがあります。
- 3 提出書類等は、いかなる理由があっても返却しません。また、既納の検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
- (1) 検定料の返還請求ができるもの
- ア) 検定料を払い込んだが、出願しなかった（出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合
 - イ) 検定料を誤って二重に払い込んだ場合
 - ウ) 第1次選考（書類審査）で不合格となった場合（この場合の返還額は13,000円です。）
 - エ) 出願時に検定料免除を申請し、後日、本学に罹災証明書が提出された場合
- (2) 返還請求の方法
- 本学ホームページの入試情報ページより返還請求書(http://www.saitama-u.ac.jp/entrance/exam_info/henkanseikyu.pdf)をプリントアウトし、必要事項を記入のうえ下記送付先へ簡易書留にて速やかに送付してください。
- 送付先** 〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学財務部経理課出納担当
(返還は、返還請求書到着後2ヶ月程度かかる場合があります。)
- 4 インターネット出願で、入力内容の間違いに気づいた場合は、46頁下段の記載内容により対応してください。なお、書類提出後は、記入事項を変更することはできません。ただし、住所・電話番号に変更があった場合には、理学部係まで連絡してください。
- 5 提出書類等に虚偽の内容があった場合には、入学後でも入学を取り消すことがあります。

Ⅲ－C 【総合型選抜】工学部

1 総合型選抜を実施する学科及び募集人員

学 科	募 集 人 員
情報工学科	5名

2 出願資格及び要件

次の各条件を満たす者としてします。

- (1) 高等学校又は中等教育学校の後期課程を、令和5年3月に卒業見込みの者で、合格した場合に入学を確約できる者
- (2) 高等学校又は中等教育学校の後期課程における理数系の成績（調査書中、数学（数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、又は数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学Bの内容を含む科目）と理科の評定平均値）の平均が4.3以上であり、かつ数学Ⅲの内容を含む科目及び物理の内容を含む科目（ただし、「物理基礎」は含みません。）を既修又は出願時に履修している者
- (3) 高等学校又は中等教育学校の後期課程における調査書中、学習成績概評がB以上の者

<注意事項>

- (1) 本総合型選抜に出願した場合、他の総合型選抜及び学校推薦型選抜へ出願することはできません。ただし、総合型選抜に出願し、第1次選考で不合格となった場合には、他の総合型選抜あるいは学校推薦型選抜に出願することができます。
- (2) 総合型選抜に出願した者は、国公立大学の「前期日程」・「後期日程」にも出願し、受験することができます。ただし、総合型選抜の合格者で入学手続をした場合は、「前期日程」・「後期日程」を受験しても合格者とはなりません。

3 選抜方法・選抜日程

- (1) 入学者の選抜は、大学入学共通テストを免除し、以下の方法により行います。
出願者が20名を超えた場合には、第1次選考を実施する場合があります。第1次選考では、出願時に提出された志望の理由(70点満点)と調査書の内容(30点満点)を評価し、合計点の上位20名を合格とします。なお、第1次選考を実施した場合は、令和4年9月30日(金)以降、出願者全員に合否通知書及び必要書類を送付します。
電話による合否結果の問合せには一切応じません。
受験者(第1次選考実施の場合は、合格した受験者)は、「情報システム工学入門」の講義(1時間30分)を2回(令和4年10月28日(金)、11月4日(金)の、各々16時20分から17時50分までの講義)受講し、毎回の講義終了後に与えられる課題に対するレポートを翌週までに提出します。また、毎回の講義終了後に、小テスト(20分程度)を行います。
選抜は、出願時に提出された志望の理由、調査書、小テスト、課題に対して提出されたレポート及び10月15日(土)に埼玉大学構内にて行う面接(英語、数学の口頭試問を含みます。)により総合的に行います。

(2) 選抜日程、配点

区分	検査日時	検査内容	配点	備考(レポート提出期限等)
面接	令和4年10月15日(土)13時から	面接	60	英語、数学の口頭試問を含みます。
講義	令和4年10月28日(金) 講義:16時20分から17時50分 小テスト:18時00分から 18時20分	小テスト	10	令和4年11月4日(金) 17時00分まで 提出先:工学部係 (郵送の場合:締切日当日消印有効)
		レポート	10	
	令和4年11月4日(金) 講義:16時20分から17時50分 小テスト:18時00分から 18時20分	小テスト	10	
		レポート	10	

(3) 面接の形式、採点・評価基準

- ・面接は日本語で行い、数学や英語に関する口頭試問を含みます。
- ・形式は個人面接とします。複数の面接員で実施します。
- ・数学・英語の基礎学力に加えて、主体性、表現力及びプレゼンテーション能力を評価します。

(4) 合否判定基準

- ・レポート及び面接の総合点順に合否を決定します。
- ・総合点が同点の場合は、面接点が高い方を上位とします。
- ・志望の理由及び調査書は選抜の基礎資料とします。ただし、合否ラインで同点・同順位となった場合に限り、志望の理由及び調査書の内容を第1次選考の配点により評価し、合否を判定します。

4 出願手続

出願方法	出願は、インターネット出願（インターネットによる志願者登録及び出願書類の郵送）のみとします。 43頁「ⅩⅡ インターネット出願について」をよく読み、手続を行ってください。	
出願期間	令和4年9月1日(木)～8日(木) 期間内郵送必着とします。 インターネット出願の登録と入学検定料の納入は、8月25日(木)から可能です。 上記出願期間中に、下記提出書類が本学に到着するよう、簡易書留速達郵便で発送してください。 (ただし、出願期間を過ぎて9月9日(金)正午までに到着した出願書類のうち、9月7日(水)までの発信局消印のある簡易書留速達郵便に限り受理します。)	
提出書類等	1 入学志願票	インターネット出願サイト (https://e-apply.jp/ds/saitama-n/) 又は本学HPからアクセスし、志願者登録を行ってください。 顔写真は、出願前3ヶ月以内に正面向、上半身、無帽で撮影した鮮明な写真をアップロードしてください。 志願者登録終了後、入学検定料をお支払いください。入学検定料17,000円は、コンビニエンスストア、クレジットカード、郵便局・銀行ATM、ネットバンキングのいずれかでお支払いください。 その後、入学志願票、出願書類提出用封筒宛名をダウンロードし、カラー印刷してください。出願書類提出用封筒(市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm))は出願書類提出用封筒宛名を貼り付けて作成してください。
	2 志望の理由	本人が記載してください。【本学HP掲載の様式を利用】
	3 調査書	出身学校長が作成し厳封したもので、最終学年の最新のものまで記載されたもの。
	4 検定料の免除	検定料の免除については、41頁「Ⅶ 検定料の免除」を参照してください。
書類提出先	〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学工学部係	

- (注) 1 提出された書類等の郵送到着確認の問い合わせには一切応じません。
到着確認は、日本郵便Webサイトの郵便追跡サービスを使用してください。(使用時は、簡易書留郵送時に郵便局で発行される受領証に記載されている「問い合わせ番号」が必要です。)
- 2 提出書類等に不備がある場合には、受理しないことがあります。
- 3 提出書類等は、いかなる理由があっても返却しません。また、既納の検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
- (1) 検定料の返還請求ができるもの
- ア) 検定料を払い込んだが、出願しなかった(出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった)場合
 - イ) 検定料を誤って二重に払い込んだ場合
 - ウ) 第1次選考(書類審査)で不合格となった場合(この場合の返還額は13,000円です。)
 - エ) 出願時に検定料免除を申請し、後日、本学に罹災証明書が提出された場合
- (2) 返還請求の方法
- 本学ホームページの入試情報ページより返還請求書(http://www.saitama-u.ac.jp/entrance/exam_info/henkanseikyuu.pdf)をプリントアウトし、必要事項を記入のうえ下記送付先へ簡易書留にて速やかに送付してください。

送付先 〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学財務部経理課出納担当
(返還は、返還請求書到着後2ヶ月程度かかる場合があります。)

- 4 インターネット出願で、入力内容の間違いに気づいた場合は、46頁下段の記載内容により対応してください。なお、書類提出後は、記入事項を変更することはできません。ただし、住所・電話番号に変更があった場合には、工学部係まで連絡してください。
- 5 提出書類等に虚偽の内容があった場合には、入学後でも入学を取り消すことがあります。

IV－A 【学校推薦型選抜】教養学部

1 学校推薦型選抜を実施する学科及び募集人員

学 科	募 集 人 員
教養学科	20名

2 学校推薦型選抜の対象となる高等学校及び推薦数

全国の国公立高等学校（中等教育学校の後期課程並びに高等部を置く特別支援学校、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含みます。以下同じです。）推薦できる者の数は、1校につき1名とします。

3 推 薦 対 象 者

次の各条件を満たす者としします。

- (1) 高等学校の学習成績が優秀であり、学校長が責任を持って推薦できる者
- (2) 令和4年4月から令和5年3月までに卒業又は卒業見込みの者で、合格した場合に入学を確約できる者
- (3) 調査書の全科目の評定平均値が4.3以上の者

<注意事項>

- (1) 国公立大学の学校推薦型選抜へ出願することができるのは、1つの大学・学部です。
- (2) 学校推薦型選抜に推薦された者は、国公立大学の「前期日程」・「後期日程」にも出願し、受験することができます。ただし、学校推薦型選抜の合格者で入学手続をした場合は、「前期日程」・「後期日程」を受験しても合格者とはなりません。

4 選 抜 方 法

- (1) 大学入学共通テストを免除し、学校長からの推薦書、志望の理由、調査書、小論文及び面接によります。
※「志望の理由」は、教養学部教養学科を志望する理由を自由に記述してください。
面接の際の資料とします。

- (2) 配点

小論文	面接
100	100

- (3) 小論文の採点・評価基準
理解力、論理的な考察力、記述力、表現力などを調べます。
- (4) 面接の形式、採点・評価基準
 - ・面接は日本語で行います。
 - ・形式は個人面接を基本としますが、志願者数により集団面接とする場合もあります。
 - ・複数の面接員で実施します。
 - ・グループディスカッションは行いません。
 - ・面接の採点評価基準：在学中の課外活動などをはじめとする各種の特記事項、本学部での勉強意欲を含めて総合的に評価します。
- (5) 合否判定基準
 - ・小論文及び面接の総合点順に合否を決定します。
 - ・総合点が同点の場合は、面接点が高い方を上位とします。
 - ・なお、学校長からの推薦書、志望の理由及び調査書は選抜の基礎資料とします。

5 選 抜 日 程

- (1) 期 日 及 び 場 所
令和4年11月19日(土) 埼玉大学教養学部
- (2) 日 程
小 論 文 9 : 3 0 ~ 1 1 : 0 0 (9 0 分)
面 接 1 2 : 0 0 ~

6 出願手続

出願方法	出願は、インターネット出願（インターネットによる志願者登録及び出願書類の郵送）のみとします。 43頁「XII インターネット出願について」をよく読み、手続きを行ってください。	
出願期間	令和4年11月1日(火)～7日(月) 期間内郵送必着とします。 インターネット出願の登録と入学検定料の納入は、10月25日(火)から可能です。 上記出願期間中に、下記提出書類が本学に到着するよう、簡易書留速達郵便で発送してください。 (ただし、出願期間を過ぎて11月8日(火)正午までに到着した出願書類のうち、11月6日(日)までの発信局消印のある簡易書留速達郵便に限り受理します。)	
提出書類等	1 入学志願票	インターネット出願サイト (https://e-apply.jp/ds/saitama-n/) 又は本学HPからアクセスし、志願者登録を行ってください。 顔写真は、出願前3ヶ月以内に正面向、上半身、無帽で撮影した鮮明な写真をアップロードしてください。 志願者登録終了後、入学検定料をお支払いください。入学検定料17,000円は、コンビニエンスストア、クレジットカード、郵便局・銀行ATM、ネットバンキングのいずれかでお支払いください。 その後、入学志願票、出願書類提出用封筒宛名をダウンロードし、カラー印刷してください。出願書類提出用封筒（市販の角形2号封筒（24cm×33.2cm））は出願書類提出用封筒宛名を貼り付けて作成してください。
	2 推薦書	出身学校長が作成し厳封したもの。【本学HP掲載の様式を利用】
	3 志望の理由	本人が記載してください。【本学HP掲載の様式を利用】
	4 調査書	出身学校長が作成し厳封したもので、最終学年の最新のものまで記載されたもの。
	5 検定料の免除	検定料の免除については、41頁「VII 検定料の免除」を参照してください。
書類提出先	〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学教養学部係	

- (注) 1 提出された書類等の郵送到着確認の問い合わせには一切応じません。
到着確認は、日本郵便Webサイトの郵便追跡サービスを使用してください。(使用時は、簡易書留郵送時に郵便局で発行される受領証に記載されている「問い合わせ番号」が必要です。)
- 2 提出書類等に不備がある場合には、受理しないことがあります。
- 3 提出書類等は、いかなる理由があっても返却しません。また、既納の検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
- (1) 検定料の返還請求ができるもの
- ア) 検定料を払い込んだが、出願しなかった（出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合
- イ) 検定料を誤って二重に払い込んだ場合
- ウ) 出願時に検定料免除を申請し、後日、本学に罹災証明書が提出された場合
- (2) 返還請求の方法
- 本学ホームページの入試情報ページより返還請求書(http://www.saitama-u.ac.jp/entrance/exam_info/henkanseikyu.pdf)をプリントアウトし、必要事項を記入のうえ下記送付先へ簡易書留にて速やかに送付してください。
- 送付先** 〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学財務部経理課出納担当
(返還は、返還請求書到着後2ヶ月程度かかる場合があります。)
- 4 インターネット出願で、入力内容の間違いに気づいた場合は、46頁下段の記載内容により対応してください。なお、書類提出後は、記入事項を変更することはできません。ただし、住所・電話番号に変更があった場合には、教養学部係まで連絡してください。
- 5 提出書類等に虚偽の内容があった場合には、入学後でも入学を取り消すことがあります。

IV-B 【学校推薦型選抜】教育学部

1 学校推薦型選抜を実施する募集単位及び募集人員

		募集単位	募集人員	
学校教育教員養成課程	小学校コース	教育学専修	6	
		心理・教育実践学専修	14	
		言語文化専修	国語分野	2
			英語分野	2
		社会専修	10	
		自然科学専修	算数分野	3
			理科分野	5
		芸術専修	音楽分野	5
			図画工作分野	1
		身体文化専修	体育分野	4
	生活創造専修	ものづくりと情報分野	1	
		家庭科分野	3	
	中学校コース	言語文化専修	国語分野	2
			英語分野	2
		社会専修	2	
		自然科学専修	数学分野	2
			理科分野	3
		芸術専修	音楽分野	2
			美術分野	2
		身体文化専修	保健体育分野	3
生活創造専修	技術分野	1		
	家庭科分野	2		
乳幼児教育コース			5	
特別支援教育コース			2	
養護教諭養成課程			5	

2 学校推薦型選抜の対象となる学校及び推薦数

全国の国公私立高等学校（中等教育学校の後期課程並びに高等部を置く特別支援学校、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含みます。以下同じです。）

推薦できる者の数は、各募集単位とも1校につき2名までとします。ただし、学校教育教員養成課程小学校コース芸術専修図画工作分野、身体文化専修体育分野及び生活創造専修ものづくりと情報分野、中学校コース身体文化専修保健体育分野及び生活創造専修技術分野は、1校につき1名までとします。

3 推薦対象者

次の各条件を満たす者としてします。

- (1) 高等学校の学習成績が優秀であり、学校長が責任を持って推薦できる者
- (2) 令和4年4月から令和5年3月までに卒業又は卒業見込みの者

ただし、学校教育教員養成課程

小学校コース芸術専修音楽分野

小学校コース芸術専修図画工作分野

小学校コース生活創造専修家庭科分野

中学校コース芸術専修音楽分野

中学校コース芸術専修美術分野

中学校コース生活創造専修家庭科分野

においては、令和2年4月から令和5年3月までに卒業又は卒業見込みの者

学校教育教員養成課程小学校コース身体文化専修体育分野

においては、令和3年4月から令和5年3月までに卒業又は卒業見込みの者

(3) 合格した場合に入学を確約できる者

学校教育教員養成課程の推薦対象者は、教員志望者が望ましいです。

養護教諭養成課程の推薦対象者は、養護教諭志望者が望ましいです。

<注意事項>

- (1) 高等学校既卒者は、できるだけ早い時期に推薦希望を出身高校に願い出てください。
- (2) 国公立大学の学校推薦型選抜へ出願することができるのは、1つの大学・学部です。
- (3) 学校推薦型選抜に推薦された志願者は、国公立大学の「前期日程」・「後期日程」にも出願し、受験することができます。ただし、学校推薦型選抜の合格者で入学手続をした場合は、「前期日程」・「後期日程」を受験しても合格者とはなりません。

4 選抜方法

(1) 次表の選抜方法（募集単位により異なる）によります。

募集単位		選抜方法		
学校教育 教員養成課程	小学校 コース	教育学専修	<p>大学入学共通テストを免除し、学校長からの推薦書、調査書、志望の理由、小論文及び面接によります。</p> <p>※「志望の理由」は、教育への関心・問題意識及び大学入学後の抱負について、本人が自分の考えを600字以内にまとめて記述してください。</p>	
		心理・教育実践学専修	<p>学校長からの推薦書、調査書、志望の理由（注1）、面接及び大学入学共通テスト〔科目については（注2）〕によります。</p> <p>※面接は、心理学・教育実践学に関する口頭試問を含みます。</p>	
		言語文化専修	国語分野	<p>大学入学共通テストを免除し、学校長からの推薦書、調査書、志望の理由（注1）、小論文及び面接によります。</p>
			英語分野	<p>学校長からの推薦書、調査書、志望の理由（注1）、面接及び大学入学共通テスト〔科目については（注2）〕によります。</p> <p>※面接は、英語に関する口頭試問を含みます。</p>
		社会専修	<p>学校長からの推薦書、調査書、志望の理由（注1）、面接及び大学入学共通テスト〔科目については（注2）〕によります。</p> <p>※面接は、社会科に関する口頭試問を含みます。</p>	
		自然科学専修	算数分野	<p>学校長からの推薦書、調査書、志望の理由（注1）、面接及び大学入学共通テスト〔科目については（注3）〕によります。</p> <p>※面接は、算数・数学に関する口頭試問を含みます。</p>
			理科分野	<p>学校長からの推薦書、調査書、志望の理由（注1）、面接及び大学入学共通テスト〔科目については（注2）〕によります。</p> <p>※面接は、理科に関する口頭試問を含みます。</p>
		芸術専修	音楽分野	<p>学校長からの推薦書、調査書、実技検査（23頁を参照のこと。）、面接及び大学入学共通テスト〔科目については（注2）〕によります。</p>
			図画工作分野	<p>学校長からの推薦書、調査書、志望の理由（注1）、高等学校卒業後の経歴書（既卒者のみ）、面接、実技検査及び大学入学共通テスト〔科目については（注2）〕によります。</p> <p>【実技検査科目】 水彩画</p> <p>【面接】 面接にあたって、制作した代表作品1点と、作品ファイル1冊（※）を持参してください（大型作品で持参することが不可能な場合は、写真でも構いません）。 ※作品ファイル＝入学志願者本人が制作した作品の写真・スケッチ等のファイル</p>
		身体文化専修	体育分野	<p>大学入学共通テストを免除し、学校長からの推薦書、調査書、志望の理由（注1）、スポーツ活動に関する調査書、小論文、面接及び実技検査（24頁を参照のこと。）によります。</p>

学校教育教員養成課程

小学校コース	生活創造専修 ものづくりと情報分野	<p>学校長からの推薦書、調査書、志望の理由（注1）、面接及び大学入学共通テスト〔科目については（注2）〕によります。</p> <p>※面接は、ものづくりと情報に関する口頭試問を含みます。</p>
	家庭科分野	<p>大学入学共通テストを免除し、学校長からの推薦書、調査書、志望の理由（注1）、小論文及び面接によります。</p> <p>※面接は、家庭科に関する口頭試問を含みます。</p>
中学校コース	言語文化専修 国語分野	<p>大学入学共通テストを免除し、学校長からの推薦書、調査書、志望の理由（注1）、小論文及び面接によります。</p>
	英語分野	<p>学校長からの推薦書、調査書、志望の理由（注1）、面接及び大学入学共通テスト〔科目については（注2）〕によります。</p> <p>※面接は、英語に関する口頭試問を含みます。</p>
	社会専修	<p>学校長からの推薦書、調査書、志望の理由（注1）、面接及び大学入学共通テスト〔科目については（注2）〕によります。</p> <p>※面接は、社会科に関する口頭試問を含みます。</p>
	自然科学専修 数学分野	<p>学校長からの推薦書、調査書、志望の理由（注1）、面接及び大学入学共通テスト〔科目については（注3）〕によります。</p> <p>※面接は、数学に関する口頭試問を含みます。</p>
	理科分野	<p>学校長からの推薦書、調査書、志望の理由（注1）、面接及び大学入学共通テスト〔科目については（注3）〕によります。</p> <p>※面接は、理科に関する口頭試問を含みます。</p>
	音楽分野	<p>大学入学共通テストを免除し、学校長からの推薦書、調査書、面接及び実技検査（23頁を参照のこと。）によります。</p>
	芸術専修 美術分野	<p>大学入学共通テストを免除し、学校長からの推薦書、調査書、志望の理由（注1）、高等学校卒業後の経歴書（既卒者のみ）、面接及び実技検査によります。</p> <p>【実技検査科目】 水彩画</p> <p>【面接】 面接にあたって、制作した代表作品1点と、作品ファイル1冊（※）を持参してください（大型作品で持参することが不可能な場合は、写真でも構いません）。 ※作品ファイル＝入学志願者本人が制作した作品の写真・スケッチ等のファイル</p>
	身体文化専修 保健体育分野	<p>大学入学共通テストを免除し、学校長からの推薦書、調査書、志望の理由（注1）、スポーツ活動に関する調査書、小論文、面接及び実技検査（24頁を参照のこと。）によります。</p>

学校 教育 教員 養成 課程	中 学 校 コ ー ス	生活創造専修	技術分野	<p>学校長からの推薦書、調査書、志望の理由（注1）、面接及び大学入学共通テスト（科目については（注3））によります。</p> <p>※面接は、技術に関する口頭試問を含みます。</p>
		生活創造専修	家庭科分野	<p>大学入学共通テストを免除し、学校長からの推薦書、調査書、志望の理由（注1）、小論文及び面接によります。</p> <p>※面接は、家庭科に関する口頭試問を含みます。</p>
	乳幼児教育コース			<p>大学入学共通テストを免除し、学校長からの推薦書、調査書、志望の理由（注1）、小論文及び面接によります。</p>
	特別支援教育コース			<p>学校長からの推薦書、調査書、志望の理由（注1）、小論文、面接及び大学入学共通テスト〔科目については（注2）〕によります。</p>
養護教諭養成課程				<p>学校長からの推薦書、調査書、志望の理由（注1）、小論文、面接及び大学入学共通テスト〔科目については（注2）〕によります。</p> <p>※面接は、保健に関する口頭試問を含みます。</p> <p>※2段階の選抜を実施します。 第1次選抜は、学校長からの推薦書、調査書、志望の理由（注1）、小論文及び面接により選拔し、募集人員と同数を第1次選抜合格者とします。 第2次選抜は、第1次選抜の合格者に対して、大学入学共通テスト〔科目については（注2）〕の成績により選拔し、合計の得点率を60%以上満たした者のみを最終合格者とします。</p>

（注1）「志望の理由」は、該当する課程・コース・専修・分野等に関する志望の理由及び大学入学後の抱負について、本人が自分の考えを600字以内にまとめて記述してください。

（注2）国語、「地歴及び公民」から1科目、「数学Ⅰ・数学A」又は「数学Ⅱ・数学B」、理科（「『基礎を付した科目』から2科目」又は「『基礎を付していない科目』から1科目」）、外国語〔英語（リーディング及びリスニング）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語〕から1科目

配点は、以下のとおりです。

（なお、小学校コース生活創造専修ものづくりと情報分野の配点は ※印の配点となります。）

大学入学共通テスト						
教科・科目名等	国語	地歴及び公民	「数学Ⅰ・数学A」 又は 「数学Ⅱ・数学B」	理科	外国語	計
配点	200 （※100）	100 （※100）	100 （※100）	100 （※100）	200 （※100）	700 （※500）

（注3）国語、「地歴及び公民」から1科目、数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B、理科（「『基礎を付した科目』から2科目と『基礎を付していない科目』から1科目」又は「『基礎を付していない』から2科目」）、外国語〔英語（リーディング及びリスニング）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語〕から1科目

配点は、次ページのとおりです。

（なお、中学校コース生活創造専修技術分野の配点は ※印の配点となります。）

大学入学共通テスト						
教科・科目名等	国語	地歴及び公民	「数学Ⅰ・数学A」 「数学Ⅱ・数学B」	理科	外国語	計
配点	200 (※100)	100 (※50)	100 (※75)	100 (※50)	200 (※100)	900 (※500)
			100 (※75)	100 (※50)		

(注4) 「基礎を付した科目」とは、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎を指します。

(注5) 「基礎を付していない科目」とは、物理、化学、生物、地学を指します。

(注6) (注2)・(注3)において、本学が指定する科目数を超えて受験した場合の成績採用方法は、下記のとおりです。

- ① 「基礎を付した科目」から2科目、「基礎を付していない科目」から1科目を受験した場合は、高得点の科目の成績を採用します。
- ② 「基礎を付していない科目」から2科目受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。
- ③ 「地歴及び公民」から2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用します。
- ④ 「数学」から2科目を受験した場合は、高得点科目の成績を採用します。

(注7) (注2)・(注3)に記載されている「地歴及び公民」は、世界史A、世界史B、日本史A、日本史B、地理A、地理B、現代社会、倫理、政治・経済、『倫理、政治・経済』から選択することができます。

(注8) (注3)において、「理科」の「『基礎を付した科目』から2科目と『基礎を付していない科目』から1科目」の合計3科目選択する場合、同一名称を付した科目(例:「物理基礎」と「物理」など)を選択することができます。

(注9) 外国語の配点が200点満点の募集単位については、大学入学共通テストの外国語で英語を選択した場合、「リーディング(100点)×1.6+リスニング(100点)×0.4=200点」に換算します。リスニング免除者については、「リーディング(100点)×2=200点」に換算します。

(注10) 外国語の配点が100点満点の募集単位については、大学入学共通テストの外国語で英語を選択した場合、「[リーディング(100点)×1.6+リスニング(100点)×0.4]×0.5=100点」に換算します。リスニング免除者については、「リーディング(100点)」のとおり配点します。英語以外を選択した場合は、「筆記(200点)×0.5=100点」に換算します。

音楽実技検査について

教育学部学校教育教員養成課程小学校コース芸術専修音楽分野及び中学校コース芸術専修音楽分野を志望する者

検査項目

次のA)、B)を全員が受験します。「音楽実技検査に関する調書」を出願書類と同時に提出してください。

A) 次のイとロの両方を受験します。

イ. 次の4曲の中から任意の1曲を選び、ピアノ伴奏つき楽譜（例えば市販されている楽譜、自作の伴奏をつけた手書きの楽譜など）を用いて、自分でピアノ伴奏を弾きながら歌います。楽譜を見てもよいです。調は自由とします。

- ・茶つき（なつもちかづく はちじゅうはちや・・・）（文部省唱歌）2番まで歌います。
- ・まきばの朝（ただいちめにたちこめた・・・）（文部省唱歌）2番まで歌います。
- ・とんび（とべとべとんび そらたかく・・・）（葛原しげる作詞、梁田貞作曲）2番まで歌います。
- ・冬げしき（さぎりきゆる みなとえの・・・）（文部省唱歌）2番まで歌います。

[注] 当日に用いる伴奏つき楽譜（手書きでも可）を、出願書類と同時に提出してください。提出の際、1頁がA4縦のサイズとし、製本しないでください。提出した楽譜は返却されません。

ロ. 「ハノンピアノ教則本」のNo.39より、検査当日指定される、同一調号の長調と短調の音階を暗譜で演奏します。調号が♯3つまで、♭3つまでの調が指定されます。繰り返しは省略し、短調は、和声的短音階の後、続けて旋律的短音階を弾き、カデンツ（終止形）をつけてください。速度は♩=60以上とします。

B) 次の1または2のどちらか1つを選択して受験します。

1. 声楽

5分以上10分程度までの任意の独唱曲を原語・暗譜で歌います。曲数は問いません。オペラ、オラトリオの曲は原調とします。

2. 器楽

次の楽器の中から1つを選び、5分以上10分程度までの任意の独奏曲を演奏します。曲数は問いません。ピアノは暗譜とします。ピアノソナタの楽章を複数演奏する場合は、同一の作品から選んでください。

ピアノ、フルート、リコーダー、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォン、ホルン、トランペット、トロンボーン、チューバ、ユーフォニアム、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス

[注] ①上記の1、2とも、伴奏の有無は自由とします。伴奏者は本学では用意しません。伴奏を必要とする場合は、志願者各自で用意してください。伴奏者を同伴する場合は、本学在学学生及び教職員は除いてください。伴奏音源を用いて演奏する場合は、伴奏音源を録音したメディアを出願書類と共に提出してください。ファイル形式はWAV、MP3、WMA、MP4/M4Aのいずれかとし、CD、DVD、Blu-rayのディスクに書き込むか、USBメモリに入れ、出願者の氏名を記入して提出してください。音源の再生機器は担当者が操作します。

②上記の1、2とも、演奏する曲の楽譜を出願書類と同時に提出してください。

提出の際、1頁をA4縦のサイズとし、製本しないでください。

提出した楽譜は返却されません。

③ピアノ以外の楽器は、志願者各自が持参してください。

④上記の1、2とも、繰り返しは省略としますが、ダ・カーポは行ってください。

⑤複数曲提出した場合は、「音楽実技検査に関する調書」に記入した曲順通りに演奏してください。なお、演奏する箇所を指定することがあります。

⑥5分以内であっても演奏を途中で打ち切ることがあります。

体育実技検査について

教育学部学校教育教員養成課程小学校コース身体文化専修体育分野及び中学校コース身体文化専修保健体育分野を志望する者

検査項目

次の種目から1科目選択し、受験します。

種目	内 容
陸上競技	<p>100m走、400m走、1500m走、100mハードル、110mハードル、走り幅跳び、三段跳び、砲丸投げ、円盤投げの中から1つについて評価します。</p> <p>100m走は、土のグラウンド（使用できない場合ゴムシート上）でスターティングブロックから疾走します。400m走は、土のグラウンド（使用できない場合100mゴムシート上を折り返し走）でスターティングブロックから疾走します。1500m走は、土のグラウンドで400mトラックを3周と3/4周します。100mハードルは女子、110mハードルは男子とします。</p> <p>走り幅跳び・三段跳びは、ゴムシートの助走路から、実測距離を測定します。</p> <p>砲丸投げは、高校用砲丸(男子6 kg、女子4 kg)を、円盤投げは、高校用円盤(男子1.75kg、女子1 kg)を投てきします。</p> <p>なお、専用シューズやスパイクを使用して構いません。また、荒天の場合、屋内において異なる内容に変更することがありますが、選択内容に近い距離や検査内容とします。</p>
バレーボール	<ul style="list-style-type: none"> ・2人組のパス ・レセプション（サーブレシーブ） ・スパイク ・ポジション別の課題 ・4人対4人のゲーム (人数によっては、やり方を変えることがあります)
バスケットボール	<ul style="list-style-type: none"> ・バスケットボールの個人技能をみます（ディフェンスがない状態で自分の得意なシュートをいくつか行います）。 ・パス&ランを基本としたハーフコートの3対3を行います。 ・パス&ランを基本としたオールコートのゲームを行います。 (人数によっては、やり方を変えることがあります)
サッカー	<ul style="list-style-type: none"> ・個人技能：ボールコントロール、パス&コントロールを行います。 ・個人戦術：クロスボールに対するシュートとボールクリアランスを行います。 ・グループ戦術：「3対3」の攻防を1つのゴール（GK有）で行います。 ・チーム戦術：「5対5」以上の人数でゲーム形式を行います。 (人数によって、やり方を変えることがあります)
ダンス	<p>「創作ダンス作品の演技（3分以内）」。</p> <p>作品のタイトル・テーマは自由。音楽(CDに限ります)を持参して使用してもよいです（プレーヤーは大学で用意）。衣装は自由（スカートをはく、上着を着るなど簡単な衣装をつけてもよいです）。創作ダンスに必要なダンステクニックの習熟度と作品を表現する力を評価します。</p>

(2) 合否判定基準

- ア 各募集単位等で指定した試験（小論文、面接、実技検査、大学入学共通テスト）及びスポーツ活動に関する調書（小学校コース身体文化専修体育分野、中学校コース身体文化専修保健体育分野）の成績の総合点順に合否を決定します。
なお、全ての募集単位等において、学校長からの推薦書及び調査書は選抜の基礎資料とします。
- イ 小学校コース芸術専修音楽分野及び中学校コース芸術専修音楽分野において、実技検査の満点(550点)の60%(330点)に達しない者は、総合点の如何にかかわらず不合格とします。
- ウ 小学校コース身体文化専修体育分野及び中学校コース身体文化専修保健体育分野において、実技検査（「スポーツ活動に関する調書」を含む）の満点(小・体育500点、中・保健体育550点)の50%(小・体育250点、中・保健体育275点)に達しない者は、総合点の如何にかかわらず不合格とします。
また、小学校コース身体文化専修体育分野及び中学校コース身体文化専修保健体育分野において、面接の満点（小・体育100点、中・保健体育50点）の20%（小・体育20点、中・保健体育10点）に達しない者は、総合点の如何にかかわらず不合格とします。
- エ 養護教諭養成課程の第2次選抜において、大学入学共通テストの満点(700点)の60%(420点)に達しない者は、不合格とします。
- オ 「志望の理由」の取扱い
志望理由の明確さを判断するための参考資料、または、面接のための参考資料とします。
- カ 「高等学校卒業後の経歴書」の取扱い
小学校コース芸術専修図画工作分野及び中学校コース芸術専修美術分野において、面接のための参考資料とします。

(3) 小論文の出題意図、採点・評価基準

募集単位		出題意図等
学校教育教員養成課程	教育学専修	教育に関する関心、基礎的・総合的な思考力をみます。 出題内容の理解、論理的思考、記述力を評価します。
	小学校コース 言語文化専修 国語分野	国語に関する関心、思考力及び表現力をみます。 国語及び国語教育にかかわるテーマについて小論文を課します。 テーマを正確に理解した上で、考察を進めているか、論理的に結論を導き出しているか、等の観点から、複数の試験官が採点・評価します。
	身体文化専修 体育分野	体育を学んでいく上で必要な総合的思考力をみます。 体育・スポーツに関する知識、理解及び記述力、論理的考察力を総合的に評価します。
	生活創造専修 家庭科分野	家庭科教育を学んでいく上で必要な総合的思考力をみます。 論理的考察力、理解力、記述力をみます。
	中学校コース 言語文化専修 国語分野	国語に関する関心、思考力及び表現力をみます。 国語及び国語教育にかかわるテーマについて小論文を課します。 テーマを正確に理解した上で、考察を進めているか、論理的に結論を導き出しているか、等の観点から、複数の試験官が採点・評価します。
	身体文化専修 保健体育分野	保健体育を学んでいく上で必要な総合的思考力をみます。 保健体育・スポーツに関する知識、理解及び記述力、論理的考察力を総合的に評価します。
	生活創造専修 家庭科分野	家庭科教育を学んでいく上で必要な総合的思考力をみます。 出題内容の理解、論理的考察力、文章表現力を総合的に評価します。
	乳幼児教育コース	乳幼児教育・保育に関する理解、思考力及び表現力をみます。 出題内容の理解と文章表現能力、論理構成能力を総合的に評価します。
	特別支援教育コース	特別支援教育を学んでいく上で必要な基礎的・総合的な学力と創造的な思考力を問う問題を出題します。 論理的考察力、理解力、記述力を総合的に評価します。
	養護教諭養成課程	保健に関する基礎的・総合的な学力を問う問題を出題します。 保健に関する知識・理解、論理的考察力、記述力を総合的に評価します。

(4) 面接の形式、採点・評価基準

募集単位		面接形式等
教育学専修		個人面接 教育に関する題材を提示し、その場で回答してもらいます。その上で、志望動機などについて、面接員からの問い掛けに対し、論理的に表現ができるかなどを評価します。
心理・教育実践学専修		集団面接 将来、教育にかかわる仕事をする意欲、心理学及び教育実践学への関心などを総合的に評価します。
言語文化専修	国語分野	個人面接 面接員が受験生に質問するだけでなく、その場で題を与え、短いスピーチをしてもらいます。 国語及び国語教育への関心、将来、教育にかかわる仕事をする意欲、又は言語能力などを、複数の面接員が採点・評価します。
	英語分野	個人面接 英語及び英語教育への関心、学習意欲、表現力、理解力等を総合的に評価します。
社会専修		個人面接 社会科に関する興味・関心、論理的な陳述、知識の正確さなどを総合的に評価します。
自然科学専修	算数分野	個人面接 口頭による質問等により、数学及び算数・数学教育に対する関心・意欲、知識を総合的に評価します。
	理科分野	個人面接 自然科学（理科）及び理科教育への関心、学究的態度、卒業後に理科教員になる意欲などを総合的に評価します。
芸術専修	音楽分野	個人面接 学習意欲、音楽に関する知識、関心を総合的に評価します。各受験生の実技検査終了後、その場でただちに行います。
	図画工作分野	個人面接 学習意欲、学究的態度、芸術及び創造への関心を総合的に評価します。
身体文化専修	体育分野	個人面接 口頭による質問等により、体育・スポーツに関する意欲や知識及び教員への意欲を総合的に評価します。
生活創造専修	ものづくりと情報分野	個人面接 ものづくりと情報についての関心、教職への意欲、思考力、コミュニケーション能力を総合的に評価します。
	家庭科分野	個人面接 家庭科及び家庭科教育に対する関心・意欲、自己表現力、理解力、考察力を総合的に評価します。

学校教育教員養成課程
小学校コース

学校教育教員養成課程	言語文化専修	国語分野	個人面接 面接員が受験生に質問するだけでなく、その場で題を与え、短いスピーチをしてもらいます。 国語及び国語教育への関心、将来、教育にかかわる仕事をする意欲、又は言語能力などを、複数の面接員が採点・評価します。
		英語分野	個人面接 英語及び英語教育への関心、学習意欲、表現力、理解力等を総合的に評価します。
	社会専修		個人面接 社会科に関する興味・関心、論理的な陳述、知識の正確さなどを総合的に評価します。
	自然科学専修	数学分野	個人面接 口頭による質問等により、数学及び算数・数学教育に対する関心・意欲、知識を総合的に評価します。
		理科分野	個人面接 自然科学（理科）及び理科教育への関心、学究的態度、卒業後に理科教員になる意欲などを総合的に評価します。
	芸術専修	音楽分野	個人面接 学習意欲、音楽に関する知識、関心を総合的に評価します。各受験生の実技検査終了後、その場でただちに行います。
		美術分野	個人面接 学習意欲、学究的態度、芸術及び創造への関心を総合的に評価します。
	身体文化専修	保健体育分野	個人面接 口頭による質問等により、保健体育・スポーツに関する意欲や知識及び教員への意欲を総合的に評価します。
	生活創造専修	技術分野	個人面接 技術についての関心、教職への意欲、思考力、コミュニケーション能力を総合的に評価します。
		家庭科分野	個人面接 家庭科及び家庭科教育に対する関心・意欲、自己表現力、理解力、考察力を総合的に評価します。
	乳幼児教育コース		個人面接 乳幼児教育・保育に対する適性、表現力、思考力、教職・保育士職への意欲を総合的に評価します。
	特別支援教育コース		個人面接 特別支援教育に関する知識・関心、教職への意欲、思考力、表現力、コミュニケーション能力を総合的に評価します。
養護教諭養成課程		集団面接（集団討論を含みます。） 保健についての知識・理解、思考力、判断力、コミュニケーション能力、教職への意欲等を総合的に評価します。	

(注) 全ての募集単位等における面接は、複数の面接員によって行います。

(5) 実技検査の採点・評価基準

募集単位			採点・評価基準	
学校教育 教員養成課程	小学校 コース	芸術専修	音楽分野	演奏技術、音楽性、表現力、曲の解釈などを総合的に評価します。
			図画工作分野	意欲、表現力、素描力、色彩感覚を総合的に評価します。
	中学校 コース	芸術専修	音楽分野	演奏技術、音楽性、表現力、曲の解釈などを総合的に評価します。
			美術分野	意欲、表現力、素描力、色彩感覚を総合的に評価します。
		身体文化専修	体育分野	選択した実技検査項目の各課題の達成度及び資質を評価します。
			保健体育分野	選択した実技検査項目の各課題の達成度及び資質を評価します。

(6) スポーツ活動に関する調書の採点・評価基準

募集単位			採点・評価基準	
学校教育 教員養成課程	小学校 コース	身体文化専修	体育分野	高等学校在学中3年間のスポーツに関する活動について、大会及びコンクール等の成績などを評価します。
	中学校 コース	身体文化専修		

(7) 配点

募集単位		小論文	面接	実技検査	スポーツ活動に関する調査書	大学入学共通テスト	計		
学校教育教員養成課程	小学校コース	教育学専修	200	500				700	
		心理・教育実践学専修		700			700	1400	
		言語文化専修	国語分野	350	350				700
			英語分野		700			700	1400
		社会専修		700			700	1400	
		自然科学専修	算数分野		500			900	1400
			理科分野		700			700	1400
		芸術専修	音楽分野		150	550		700	1400
			図画工作分野		350	350		700	1400
	身体文化専修	体育分野	100	100	500			700	
	生活創造専修	ものづくりと情報分野		900			500	1400	
		家庭科分野	350	350				700	
	中学校コース	言語文化専修	国語分野	350	350				700
			英語分野		700			700	1400
		社会専修		700			700	1400	
		自然科学専修	数学分野		500			900	1400
			理科分野		500			900	1400
		芸術専修	音楽分野		150	550			700
美術分野				350	350			700	
身体文化専修		保健体育分野	100	50	550			700	
生活創造専修		技術分野		900			500	1400	
	家庭科分野	350	350				700		
乳幼児教育コース		350	350				700		
特別支援教育コース		350	350			700	1400		
養護教諭養成課程	(第1次選抜)	350	350				700		
	(第2次選抜)					700	700		

5 選抜日程

(1) 期日及び集合場所

令和4年11月19日(土)、20日(日) 埼玉大学教育学部

注：選考は下記のとおり予定していますが、志願者数により1日で実施することがあります。
なお、実施期日、試験時間等の詳細は、受験票配信の際に通知します。

(2) 日程

募集単位		11月19日(土)	11月20日(日)		
学校教育 教員養成課程	小学校 コース	教育学専修	小論文 9:30~11:00 面接 12:00~	面接 9:00~	
		心理・教育実践学専修		面接 9:00~	
		言語文化専修	国語分野	小論文 9:30~11:00 面接 13:00~	
			英語分野		面接 13:00~
		社会専修	面接 9:00~		
		自然科学専修	算数分野	面接 9:00~	面接 9:00~
			理科分野	面接 9:00~	
		芸術専修	音楽分野	実技検査及び面接 9:00~	
			図画工作分野		実技検査 9:00~12:00 面接 13:00~
		身体文化専修	体育分野	小論文 9:30~11:00 面接 13:00~	実技検査 9:00~
	生活創造専修	ものづくりと 情報分野	面接 9:00~		
		家庭科分野	小論文 9:30~11:00 面接 13:00~		
	中学校 コース	言語文化専修	国語分野	小論文 9:30~11:00 面接 13:00~	
			英語分野		面接 13:00~
		社会専修	面接 9:00~		
		自然科学専修	数学分野	面接 9:00~	面接 9:00~
			理科分野	面接 9:00~	
		芸術専修	音楽分野	実技検査及び面接 9:00~	
			美術分野		実技検査 9:00~12:00 面接 13:00~
		身体文化専修	保健体育分野	小論文 9:30~11:00 面接 13:00~	実技検査 9:00~
生活創造専修		技術分野	面接 9:00~		
		家庭科分野	小論文 9:30~11:00 面接 13:00~		
乳幼児教育コース	小論文 9:30~11:00 面接 13:00~				
特別支援教育コース	小論文 9:30~11:00 面接 13:00~				
養護教諭養成課程	小論文 9:30~11:00	面接 9:00~			

6 大学入学共通テスト成績請求票

大学入学共通テストを課す募集単位の出願者（養護教諭養成課程は第1次選抜合格者のみ）は、
大学入試センターより大学入学共通テスト受験票が到着したら、受験票に添付されている

「**推薦**」国公立推薦型選抜用」成績請求票の番号を、本学HP「インターネット出願ページ」で登録し、
大学入学共通テスト成績請求票貼付用紙を印刷し、「**推薦**」国公立推薦型選抜用」成績請求票を貼り、
「〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学学務部入試課」宛に
令和4年12月21日（水）までに届くよう郵送してください。

7 出願手続

出願方法	出願は、インターネット出願（インターネットによる志願者登録及び出願書類の郵送）のみとします。 43頁「ⅩⅡ インターネット出願について」をよく読み、手続きを行ってください。	
出願期間	令和4年11月1日(火)～7日(月) 期間内郵送必着とします。 インターネット出願の登録と入学検定料の納入は、10月25日(火)から可能です。 上記出願期間中に、下記提出書類が本学に到着するよう、簡易書留速達郵便で発送してください。 (ただし、出願期間を過ぎて11月8日(火)正午までに到着した出願書類のうち、11月6日(日)までの発信局消印のある簡易書留速達郵便に限り受理します。)	
提出書類等	1 入学志願票	インターネット出願サイト (https://e-apply.jp/ds/saitama-n/) 又は本学HPからアクセスし、志願者登録を行ってください。顔写真は、出願前3ヶ月以内に正面向、上半身、無帽で撮影した鮮明な写真をアップロードしてください。志願者登録終了後、入学検定料をお支払いください。 入学検定料17,000円は、コンビニエンスストア、クレジットカード、郵便局・銀行ATM、ネットバンキングのいずれかでお支払いください。 その後、入学志願票、出願書類提出用封筒宛名をダウンロードし、カラー印刷してください。出願書類提出用封筒(市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm))は出願書類提出用封筒宛名を貼り付けて作成してください。
	2 推薦書	出身学校長が作成し厳封したもの。【本学HP掲載の様式を利用】
	3 調査書	出身学校長が作成し厳封したもので、最終学年の最新のものまで記載されたもの。
	4 志望の理由	学校教育教員養成課程において「志望の理由」の提出を求める募集単位(19頁「4 選抜方法」の項を参照のこと)、養護教諭養成課程の志願者に限り提出してください。【本学HP掲載の様式を利用】
	5 音楽実技検査に関する調書	学校教育教員養成課程小学校コース芸術専修音楽分野及び中学校コース芸術専修音楽分野の志願者に限り提出してください。【本学HP掲載の様式を利用】
	6 音楽実技で用いる楽譜	学校教育教員養成課程小学校コース芸術専修音楽分野及び中学校コース芸術専修音楽分野の志願者に限り提出してください。(提出形式等は23頁参照のこと。)
	7 スポーツ活動に関する調書	学校教育教員養成課程小学校コース身体文化専修体育分野及び中学校コース身体文化専修保健体育分野の志願者に限り提出してください。【本学HP掲載の様式を利用】
	8 高等学校卒業後の経歴書	学校教育教員養成課程小学校コース芸術専修図画工作分野及び中学校コース芸術専修美術分野の志望者のうち、既卒者に限り提出してください。【本学HP掲載の様式を利用】
	9 検定料の免除	検定料の免除については、41頁「Ⅶ 検定料の免除」を参照してください。
書類提出先	〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学教育学部係	

- (注) 1 提出された書類等の郵送到着確認の問い合わせには一切応じません。
到着確認は、日本郵便Webサイトの郵便追跡サービスを使用してください。(使用時は、簡易書留郵送時に郵便局で発行される受領証に記載されている「問い合わせ番号」が必要です。)
- 2 提出書類等に不備がある場合には、受理しないことがあります。
- 3 提出書類等は、いかなる理由があっても返却しません。また、既納の検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
- (1) 検定料の返還請求ができるもの
 - ア) 検定料を払い込んだが、出願しなかった(出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった)場合
 - イ) 検定料を誤って二重に払い込んだ場合
 - ウ) 出願時に検定料免除を申請し、後日、本学に罹災証明書が提出された場合
 - (2) 返還請求の方法
本学ホームページの入試情報ページより返還請求書(http://www.saitama-u.ac.jp/entrance/exam_info/henkanseikyuu.pdf)をプリントアウトし、必要事項を記入のうえ下記送付先へ簡易書留にて速やかに送付してください。
- 送付先** 〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学財務部経理課出納担当
(返還は、返還請求書到着後2ヶ月程度かかる場合があります。)
- 4 インターネット出願で、入力内容の間違いに気づいた場合は、46頁下段の記載内容により対応してください。なお、書類提出後は、記入事項を変更することはできません。ただし、住所・電話番号に変更があった場合には、教育学部係まで連絡してください。
- 5 提出書類等に虚偽の内容があった場合には、入学後でも入学を取り消すことがあります。

IV-C 【学校推薦型選抜】理学部

1 学校推薦型選抜を実施する学科及び募集人員

学 科	募 集 人 員
基礎化学科	5 名

2 学校推薦型選抜の対象となる高等学校及び推薦数

全国の国公立高等学校（中等教育学校の後期課程並びに高等部を置く特別支援学校、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含みます。以下同じです。）

推薦できる者の数は、1校につき1名とします。

3 推薦対象者

次の各条件を全て満たす者としてします。

- (1) 令和4年4月から令和5年3月までに卒業又は卒業見込みの者
- (2) 高等学校において化学（又は相当する科目 ※ただし、「化学基礎」は含みません。）及び物理（又は相当する科目 ※ただし、「物理基礎」は含みません。）を既修又は履修見込みの者
- (3) 化学に対する興味と強い学習意欲を持ち、合格した場合に入学を確約できる者

<注意事項>

- (1) 国公立大学の学校推薦型選抜へ出願することができるのは、1つの大学・学部です。
- (2) 学校推薦型選抜に推薦された志願者は、国公立大学の「前期日程」・「後期日程」にも出願し、受験することができます。ただし、学校推薦型選抜の合格者で入学手続をした場合は、「前期日程」・「後期日程」を受験しても合格者とはなりません。

4 選抜方法

- (1) 学校長からの推薦書、志望の理由（注1）、調査書、面接及び大学入学共通テスト〔3教科5科目〕〔数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B、理科（化学）、理科（物理、生物、地学から1）、外国語（英語（リーディング及びリスニング））〕によります。

（注1）「志望の理由」は、数ある大学の化学系学科の中から、なぜ埼玉大学の基礎化学科を志望するかについて明確に書いてください。加えて、これまでの理科に関する研究や勉学の活動の具体例を挙げつつ、化学についての興味・関心・学習意欲について自己アピールしてください。研究や勉学の活動とは、学校や課外活動での理科実験やレポート作成、科学系の部活動、グループ又は個人の自由研究や課題研究、SSH（スーパーサイエンスハイスクール）における研究などを含みます。「志望の理由」は面接の際の資料とします。

- (2) 配点

大学入学共通テスト					面接	合計
数学Ⅰ・ 数学A	数学Ⅱ・ 数学B	理科 (化学)	理科 (物理、生物、地学から1)	外国語 (英語)		
100	100	100	100	200（注2）	600	1200

（注2）大学入学共通テストの外国語（英語）は、
「リーディング（100点）×1.6+リスニング（100点）×0.4=200点」に換算します。
リスニング免除者については、「リーディング（100点）×2=200点」に換算します。

- (3) 面接の形式、採点・評価基準

- ・面接は日本語で行い、理科（化学、物理）及び数学に関する口頭試問を含みます。
- ・形式は個人面接とします。複数の面接員で実施します。
なお、グループディスカッションは行いません。
- ・面接の採点評価基準：学士課程で自らが志す専門分野を学ぶにあたっての意欲及び好奇心、主体的に学修に取り組む態度、表現力並びにコミュニケーション能力を評価します。

- (4) 合否判定基準

大学入学共通テスト及び面接の総合点により順位を付け合否を決定します。
なお、学校長からの推薦書、志望の理由及び調査書は基礎資料とします。

5 選抜日程

- (1) 期日及び場所

令和4年11月19日（土） 埼玉大学理学部

なお、令和5年度大学入学共通テストにおいて、必ず必要科目を受験してください。受験しない場合は、失格となります。

- (2) 日程 面接 13:00～

6 大学入学共通テスト成績請求票

大学入試センターより大学入学共通テスト受験票が到着したら、受験票に添付されている「**推薦 国公立推薦型選抜用**」成績請求票の番号を、本学HP「インターネット出願ページ」で登録し、大学入学共通テスト成績請求票貼付用紙を印刷し、「**推薦 国公立推薦型選抜用**」成績請求票を貼り、「〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学学務部入試課」宛に令和4年12月21日（水）までに届くよう郵送してください。

7 出願手続

出願方法	出願は、インターネット出願（インターネットによる志願者登録及び出願書類の郵送）のみとします。 43頁「XII インターネット出願について」をよく読み、手続を行ってください。	
出願期間	令和4年11月1日（火）～7日（月）期間内郵送必着とします。 インターネット出願の登録と入学検定料の納入は、10月25日（火）から可能です。 上記出願期間中に、下記提出書類が本学に到着するよう、簡易書留速達郵便で発送してください。 (ただし、出願期間を過ぎて11月8日（火）正午までに到着した出願書類のうち、11月6日（日）までの発信局消印のある簡易書留速達郵便に限り受理します。)	
提出書類等	1 入学志願票	インターネット出願サイト (https://e-apply.jp/ds/saitama-n/) 又は本学HPからアクセスし、志願者登録を行ってください。顔写真は、出願前3ヶ月以内に正面向、上半身、無帽で撮影した鮮明な写真をアップロードしてください。 志願者登録終了後、入学検定料をお支払いください。入学検定料17,000円は、コンビニエンスストア、クレジットカード、郵便局・銀行ATM、ネットバンキングのいずれかでお支払いください。 その後、入学志願票、出願書類提出用封筒宛名をダウンロードし、カラー印刷してください。出願書類提出用封筒（市販の角形2号封筒（24cm×33.2cm））は出願書類提出用封筒宛名を貼り付けて作成してください。
	2 推薦書	出身学校長が作成し厳封したもの。【本学HP掲載の様式を利用】
	3 志望の理由	本人が記載してください。【本学HP掲載の様式を利用】
	4 調査書	出身学校長が作成し厳封したもので、最終学年の最新のものまで記載されたもの。
	5 検定料の免除	検定料の免除については、41頁「VII 検定料の免除」を参照してください。
書類提出先	〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学理学部係	

- (注) 1 提出された書類等の郵送到着確認の問い合わせには一切応じません。
到着確認は、日本郵便Webサイトの郵便追跡サービスを使用してください。(使用時は、簡易書留郵送時に郵便局で発行される受領証に記載されている「問い合わせ番号」が必要です。)
- 2 提出書類等に不備がある場合には、受理しないことがあります。
- 3 提出書類等は、いかなる理由があっても返却しません。また、既納の検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
- (1) 検定料の返還請求ができるもの
- ア) 検定料を払い込んだが、出願しなかった（出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合
- イ) 検定料を誤って二重に払い込んだ場合
- ウ) 出願時に検定料免除を申請し、後日、本学に罹災証明書が提出された場合
- (2) 返還請求の方法
- 本学ホームページの入試情報ページより返還請求書 (http://www.saitama-u.ac.jp/entrance/exam_info/henkanseikyuu.pdf) をプリントアウトし、必要事項を記入のうえ下記送付先へ簡易書留にて速やかに送付してください。
- 送付先** 〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学財務部経理課出納担当
(返還は、返還請求書到着後2ヶ月程度かかる場合があります。)
- 4 インターネット出願で、入力内容の間違いに気づいた場合は、46頁下段の記載内容により対応してください。なお、書類提出後は、記入事項を変更することはできません。ただし、住所・電話番号に変更があった場合には、理学部係まで連絡してください。
- 5 提出書類等に虚偽の内容があった場合には、入学後でも入学を取り消すことがあります。

Ⅳ－D 【学校推薦型選抜】工学部

1 学校推薦型選抜を実施する学科及び募集人員

学 科	募 集 人 員
環境社会デザイン学科	10名

2 学校推薦型選抜の対象となる高等学校及び推薦数

全国の国公立高等学校（中等教育学校の後期課程並びに高等部を置く特別支援学校、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含みます。以下同じです。）

推薦できる者の数は、1校につき2名以内とします。

3 推 薦 対 象 者

次の各条件を満たす者とします。

- (1) 令和3年4月から令和5年3月までに卒業又は卒業見込みの者で、合格した場合に入学を確約できる者
- (2) 調査書中、学習成績概評がB以上で、理数系（物理、数学）及び英語の成績が優れている者
- (3) 物理の実験や課題研究等に興味を持ち、工学部環境社会デザイン学科の学生として適性を有する者

<注意事項>

- (1) 高等学校既卒者は、できるだけ早い時期に推薦希望を出身高校に願い出てください。
- (2) 国公立大学の学校推薦型選抜へ出願することができるのは、1つの大学・学部です。
- (3) 学校推薦型選抜に推薦された志願者は、国公立大学の「前期日程」・「後期日程」にも出願し、受験することができます。ただし、学校推薦型選抜の合格者で入学手続をした場合は、「前期日程」・「後期日程」を受験しても合格者とはなりません。

4 選 抜 方 法

- (1) 学校長からの推薦書、志望の理由、自己アピール、活動実績、調査書、小論文、面接及び大学入学共通テスト〔3教科4科目〕{数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B、理科（物理）、外国語（英語（リーディング及びリスニング）)}によります。（注1）（注2）

（注1）学校推薦型選抜では、大学入学共通テストの外国語（英語）の受験を必須とします。

（注2）外国語（英語）の評価は、大学入学共通テストの成績若しくは、実用英語技能検定試験（英検）、TOEIC（IPを含みます。）、TOEFL（iBT）の結果を大学入学共通テストの成績に換算し、最も高い得点の成績を合否判定に用います。なお、実用英語技能検定試験（英検）、TOEIC（IPを含みます。）、TOEFL（iBT）の成績は、本学への成績提出日の2年前より成績提出日までに実施された試験の成績を有効とします。

- (2) 配点

大学入学共通テスト（注1）				小論文	面接
数学Ⅰ・数学A	数学Ⅱ・数学B	理科（物理）	外国語（英語）（注2）		
100	100	200	200	400	400

（注1）大学入学共通テストの配点にあたっては、上記掲載の配点に換算します。

理科（物理）は、大学入学共通テスト「理科②」において、第1解答科目での解答が必須です。第2解答科目として解答した場合は、失格となります。

（注2）大学入学共通テストの外国語（英語）は、

「リーディング(100点)×1.6+リスニング(100点)×0.4=200点」に換算します。

リスニング免除者については、「リーディング(100点)×2=200点」に換算します。

実用英語技能検定試験、TOEIC、TOEFLの成績は、英語200点満点に以下のように換算して評価します。

① 実用英語技能検定試験：準2級 120点、2級160点、準1級・1級200点

② TOEIC：TOEIC 得点×200/780、ただし200点を上限とします。

③ TOEFL（iBT）の得点は、ETS から公表されているCEFR対応表により換算します。

なお、TOEIC-IPの得点は、志願者の在籍する高等学校が実施団体の場合のみ認められます。

- (3) 小論文の出題意図、採点・評価基準
- ・理解力、論理的な思考力や表現力などを判断するため、課題文（英文や実験データを含むことがあります。）を与えて、それに関する設問に論文形式で記述させる。
 - ・理解力、論理的な思考力、表現力などを評価します。
- (4) 面接の採点・評価基準・形式
- ・面接は日本語で行います。
 - ・形式は個人面接を基本としますが、志願者数により集団面接（4～6人）とする場合もあります。
 - ・複数の面接員で実施します。
 - ・グループディスカッションは行いません。
 - ・学校長からの推薦書、志望の理由、自己アピール、活動実績、及び調査書は、面接の評価対象とします。内容について、面接で質問することもあります。
 - ・面接の採点評価基準：表現力、コミュニケーション能力、主体性、多様性を重視します。
- (5) 合否判定基準
- 大学入学共通テスト、小論文及び面接の総合点順により合否を決定します。
総合点が同点の場合は、同順位とします。

5 選 抜 日 程

- (1) 期 日 及 び 場 所
令和4年11月19日(土) 埼玉大学工学部
なお、令和5年度大学入学共通テストにおいて、必ず必要教科・科目を受験してください。受験しない場合は、失格となります。
- (2) 日 程
小論文 9：30～11：00（90分）
面 接 12：00～

6 大学入学共通テスト成績請求票

大学入試センターより大学入学共通テスト受験票が到着したら、受験票に添付されている「**推薦** 国公立推薦型選抜用」成績請求票の番号を、本学HP「インターネット出願ページ」で登録し、大学入学共通テスト成績請求票貼付用紙を印刷し、「**推薦** 国公立推薦型選抜用」成績請求票を貼り、「〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学学務部入試課」宛に令和4年12月21日（水）までに届くよう郵送してください。

7 出願手続

出願方法	出願は、インターネット出願（インターネットによる志願者登録及び出願書類の郵送）のみとします。 43頁「ⅩⅡ インターネット出願について」をよく読み、手続を行ってください。	
出願期間	令和4年11月1日(火)～7日(月) 期間内郵送必着とします。 インターネット出願の登録と入学検定料の納入は、10月25日(火)から可能です。 上記出願期間中に、下記提出書類が本学に到着するよう、簡易書留速達郵便で発送してください。 (ただし、出願期間を過ぎて11月8日(火)正午までに到着した出願書類のうち、11月6日(日)までの発信局消印のある簡易書留速達郵便に限り受理します。)	
提出書類等	1 入学志願票	インターネット出願サイト (https://e-apply.jp/ds/saitama-n/) 又は本学ホームページからアクセスし、志願者登録を行ってください。顔写真は、出願前3ヶ月以内に正面向、上半身、無帽で撮影した鮮明な写真をアップロードしてください。 志願者登録終了後、入学検定料をお支払いください。入学検定料17,000円は、コンビニエンスストア、クレジットカード、郵便局・銀行ATM、ネットバンキングのいずれかでお支払いください。 その後、入学志願票、出願書類提出用封筒宛名をダウンロードし、カラー印刷してください。出願書類提出用封筒（市販の角形2号封筒（24cm×33.2cm））は出願書類提出用封筒宛名を貼り付けて作成してください。
	2 推薦書	出身学校長が作成し厳封したもの。【本学HP掲載の様式を利用】
	3 志望の理由	本人が記載してください。【本学HP掲載の様式を利用】
	4 自己アピール	本人が記載してください。【本学HP掲載の様式を利用】
	5 活動実績 (添付資料含む)	本人が記載してください。【本学HP掲載の様式を利用】
	6 調査書	出身学校長が作成し厳封したもので、最終学年の最新のものまで記載されたもの。
	7 英語民間試験の成績証明書	実用英語技能検定試験（英検）、TOEIC、TOEFL（iBT）はスコア票（原本）、TOEIC-IPは成績書に高等学校の公印を受けたものを提出してください。（希望者のみ）
	8 検定料の免除	検定料の免除については、41頁「Ⅶ 検定料の免除」を参照してください。
書類提出先	〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学工学部係	

- (注) 1 提出された書類等の郵送到着確認の問い合わせには一切応じません。
到着確認は、日本郵便Webサイトの郵便追跡サービスを使用してください。（使用時は、簡易書留郵送時に郵便局で発行される受領証に記載されている「問い合わせ番号」が必要です。）
- 2 提出書類等に不備がある場合には、受理しないことがあります。
- 3 提出書類等は、いかなる理由があっても返却しません。また、既納の検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
- (1) 検定料の返還請求ができるもの
- ア) 検定料を払い込んだが、出願しなかった（出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合
- イ) 検定料を誤って二重に払い込んだ場合
- ウ) 出願時に検定料免除を申請し、後日、本学に罹災証明書が提出された場合
- (2) 返還請求の方法
- 本学ホームページの入試情報ページより返還請求書 (http://www.saitama-u.ac.jp/entrance/exam_info/henkanseikyu.pdf) をプリントアウトし、必要事項を記入のうえ下記送付先へ簡易書留にて速やかに送付してください。
- 送付先** 〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学財務部経理課出納担当
(返還は、返還請求書到着後2ヶ月程度かかる場合があります。)
- 4 インターネット出願で、入力内容の間違いに気づいた場合は、46頁下段の記載内容により対応してください。なお、書類提出後は、記入事項を変更することはできません。ただし、住所・電話番号に変更があった場合には、工学部係まで連絡してください。
- 5 提出書類等に虚偽の内容があった場合には、入学後でも入学を取り消すことがあります。

V 障がい等のある入学志願者の事前相談について

本学に出願を希望する者で、身体等に障がいがあり、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、次により本学へ事前相談の申請を行ってください。

なお、不明な点又は事前相談の締切日までに申請することができない場合には事前相談担当までご相談ください。

事前相談担当：アドミッションセンター（入試課） TEL 048-858-3036（平日9:00～17:00）

1 申請方法

申請する場合は、簡易書留郵便とし、「受験上及び修学上の配慮申請書類在中」と封筒に朱書の上、次の①、②を【〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学学務部入試課】あてに提出してください。

提出された書類に基づき、本学関係者で検討を行います。ただし、検討の過程において、本人、保護者又は出身学校関係者へ照会する場合があります。

①	令和5年度埼玉大学入学者選抜試験受験上及び修学上の配慮申請書（本学所定の用紙） 申請用紙は、学務部入試課の窓口で直接受け取るか、埼玉大学ホームページからダウンロードして入手してください。 (http://www.saitama-u.ac.jp/entrance/exam_info/consultation/hairyo-shinsei.pdf)
②	医師の診断書（障がいの程度及び必要とする具体的な措置等を記載したもの） 発行後6ヶ月以内の原本

2 申請書提出時期

総合型選抜（理学部・工学部）を希望する者は、令和4年8月1日(月)から令和4年8月10日(水)までに申請してください。

総合型選抜（経済学部（昼間コース））・学校推薦型選抜を希望する者は、令和4年10月3日(月)から令和4年10月12日(水)までに申請してください。

障がいの程度が重度な場合には対応の検討に時間を要することもあります。その場合にはできるだけ早めに申請してください。

なお、上記の締切日以降申請した場合は、出願受付期間前に回答することができないことがあります。その場合であっても出願受付期間内に申請する必要があるため、出願後に希望した措置の可否が通知されることとなります。（出願受付期間を延長することはできません。）

3 申請受付後の回答日

[総合型選抜（理学部・工学部）を希望する者]令和4年8月31日(水)（予定）

[総合型選抜（経済学部（昼間コース））・学校推薦型選抜を希望する者]令和4年10月31日(月)（予定）

提出された書類を元に、ご希望の措置が実施できるか本学関係者が検討を行い、支障がないことを確認した時点で、上記①の配慮申請書に記載されている住所あてに、回答文書を郵送します。そのため、上記の回答日はあくまで予定日となります。

4 出願時の手続

(1) この申請で受験許可を得た者は、出願書類を郵送後、その旨を上記の事前相談担当に電話連絡してください。

(2) この申請で受験許可を得た者が、出願を辞退、若しくは出願したが受験しない場合は、速やかに上記の事前相談担当に電話連絡するとともに、はがき又は手紙で通知してください。

VI 最終合格者の発表及び入学手続等

1 最終合格者の発表

発表は、最終合格者への「合格通知書及び入学手続書類」の発送により行います。掲示による発表は行いません。また、不合格者には通知書等の送付は行いません。

(1) 合格通知書及び入学手続書類の発送日

① [総合型選抜]理学部・工学部

[学校推薦型選抜]教養学部・教育学部（大学入学共通テストを課さない募集単位）

令和4年12月6日(火)

② [総合型選抜]経済学部（昼間コース）

[学校推薦型選抜]教育学部（大学入学共通テストを課す募集単位）・理学部・工学部

令和5年2月10日(金)

(2) 学校推薦型選抜については、学校長にも郵送にて可否を通知します。

(3) 電話による可否結果の問い合わせには一切応じません。

<合否照会システム>

補助手段としてパソコン・携帯電話・スマートフォンによりインターネットで照会することができます。

利用方法の詳細は、49頁をご覧ください。

合否照会システムの利用期間は、以下のとおりです。

- ① [総合型選抜]理学部・工学部
[学校推薦型選抜]教養学部・教育学部（大学入学共通テストを課さない募集単位）
令和4年12月6日(火)14:00～12月9日(金)17:00
- ② [総合型選抜]経済学部（昼間コース）
[学校推薦型選抜]教育学部（大学入学共通テストを課す募集単位）・理学部・工学部
令和5年2月10日(金)14:00～2月13日(月)17:00

2 入学手続

本学が指定した提出書類等を指定の期間内に郵送又は持参し、入学手続を行ってください。郵送による入学手続期限等を含め詳細については合格者にお知らせします。

- (1) 入学手続日(持参) 令和4年12月15日(木) [総合型選抜]理学部・工学部
[学校推薦型選抜]教養学部・教育学部（大学入学共通テストを課さない募集単位）
令和5年2月17日(金) [総合型選抜]経済学部（昼間コース）
[学校推薦型選抜]教育学部（大学入学共通テストを課す募集単位）・理学部・工学部
- (2) 提出書類
ア 受験票
イ その他、本学の指定する書類等（合格者に送付します。）
- (3) 納付金
ア 入学料 282,000円〔予定額〕
イ 授業料（前期分）267,900円〔予定額〕（年額 535,800円〔予定額〕）

注1) 入学料及び授業料は、改定される場合があります。

注2) 授業料の納付については、希望により前期分の納付の際に後期分も併せて納付することができます。

注3) 入学時には上記入学料等のほか、学生教育研究災害傷害保険料など、若干の諸経費が必要となります。

注4) 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

注5) 経済的理由等で入学料・授業料の納入が著しく困難であると認められる者については、選考のうえ、免除又は徴収猶予する制度があります。詳細については合格者にお知らせします。

注6) 令和5年3月31日（金）17:00までに入学辞退の意思表示をした者については、入学志願者が納付した授業料及び学生教育研究災害傷害保険料などの返還に応じますが、納付した入学料については、いかなる理由があっても返還しません。

3 留意事項

[総合型選抜]

- (1) 入学手続を行わない者は、入学の意思がなく入学を辞退した者として取り扱います。
- (2) 本選抜の合格者は、国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。）を受験しても、その大学・学部の合格者とはなりません。ただし、特別な事情があり、令和5年2月20日（月）までに「入学辞退届」を本学学長に提出した場合はこの限りではありません。

[学校推薦型選抜]

- (1) 入学手続を行わない者は、入学の意思がなく入学を辞退した者として取り扱います。
- (2) 入学手続を行わない場合には、翌年度以降当該出身学校長からの推薦を受理しないことがあります。
- (3) 本選抜の合格者は、国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。）を受験しても、その大学・学部の合格者とはなりません。ただし、特別な事情がある場合は、推薦を行った学校長から令和5年2月20日（月）までに、「入学辞退届」を添えて出身学校長からの「学校推薦型選抜辞退願」を本学学長に提出し、その許可が得られた場合はこの限りではありません。

※公立大学協会ホームページ（<http://www.kodaikyo.org/?cat=26>）参照

4 入学前教育

特別選抜を実施した一部の募集単位において、入学前教育を実施する場合があります。内容については、該当する募集単位の合格者または入学手続者にお知らせします。

5 その他

総合型選抜による志願者あるいは学校推薦型選抜に推薦された志願者が一般選抜を受験する場合の手続等

- (1) 総合型選抜による志願者あるいは学校推薦型選抜に推薦された志願者は、国公立大学（「前期日程」から1つ、「後期日程」から1つの、合計2つの大学・学部等）の一般選抜にも出願し、受験することができます。

- なお、その場合、大学入学共通テストの受験を必要とするので注意してください。
- (2) 上記(1)により、本学の一般選抜を受験することを希望する者は、令和4年11月頃に公表する「令和5年度埼玉大学学生募集要項」に従って、改めて出願してください。

Ⅶ 検定料の免除

学資負担者が、令和4年4月1日から出願時までに災害救助法が適用された地域（災害救助法適用地域）で被災した場合で、地方公共団体が発行する全壊・流失・半壊の罹災証明を得られた志願者の検定料を免除します。

検定料の免除を希望する志願者は、検定料を払わず、本学ホームページ上（http://www.saitama-u.ac.jp/entrance/exam_info/exemption/）から検定料免除願をプリントアウトし、必要事項を記入のうえ、罹災証明書（写しでも可。）を添付して、原則として、

[総合型選抜（理学部・工学部）を志望する者：8月22日（月）までに]、

[総合型選抜（経済学部）・学校推薦型選抜を志望する者：10月21日（金）までに]、

志望する学部の学部係へ提出してください。

本学で検定料免除願を受理し、検定料の免除を認めた場合、出願開始日の前日までにインターネット出願時に必要なパスワードを郵送にてお知らせします。

なお、申請期限後に申請を希望する志願者は、志望する学部の学部係へ相談してください。

また、出願時に罹災証明書を提出できない場合は、検定料を払い込んだうえ、検定料免除願のみを提出してください。後日、罹災証明書を提出した場合に検定料を還付します。

Ⅷ 入試情報の開示

埼玉大学では、令和5年度入試情報の開示について次のとおり開示し、提供します。

- 開示対象者
総合型選抜・学校推薦型選抜を受験し不合格となった者を対象とします。
- 請求に基づき開示する情報
入試成績 ①大学入学共通テスト成績（総合点、科目別得点）※大学入学共通テストを課す募集単位のみ
②個別学力検査等の成績（総合点、科目別得点）
③順位
④合格者の最低点・平均点（募集単位毎に合格者が6名以上の場合、総合点を開示する。）

開示請求方法

請求者 受験生本人に限ります。

請求方法 「埼玉大学入試情報開示申請書」（本学ホームページからダウンロードすること。）及び返信用封筒（長形3号封筒〔12×23.5cm〕に404円分の切手を貼付し、簡易書留と朱書すること。）を郵送又は持参してください。

注 本人確認のため、本学の受験票（正本に限る。コピー不可）を同封してください。

請求期間 令和5年4月10日（月）～4月21日（金）【期間内必着のこと。】

請求先 〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255

埼玉大学学務部入試課（「入試情報開示請求」と朱書すること。）

開示方法 5月下旬に郵送します。

Ⅸ 個人情報の保護について

個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人埼玉大学の保有する個人情報の保護に関する規則」に基づいて取り扱います。

- (1) 出願に当たって知り得た氏名、住所その他の個人情報は、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格者発表、③入学手続業務、④学生宿舍の入居選考、⑤新型コロナウイルス感染症発生時等の業務を行うために利用します。
- (2) 入学者選抜に用いた出願書類及び試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料の作成のために利用します。
- (3) 上記(1)及び(2)の各種業務での利用に当たっては、本学より一部の業務を委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがあります。
については、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供します。
- (4) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、合否及び入学手続等に関する個人情報のうち氏名、性別、生年月日、高等学校等コード、大学入学共通テスト及び本学選抜の受験番号に限って、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。

- (5) 出願に当たって知り得た個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績は、入学者のみ①教務関係(学籍、修学指導等)、②学生支援関係(健康管理、就職支援、授業料免除、奨学金申請等)、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

X 入試情報ホームページ

<http://www.saitama-u.ac.jp/entrance/> 【パソコン・スマホ】



入試情報ホームページコード

XI 学生宿舎について

埼玉大学では、修学に適する良好な環境を提供し、自主的な生活を通じて、自立性を培うとともに、規律ある社会性を育む機会を与えることを目的として学生宿舎を設置しています。

学生宿舎の居室は、約4.5畳のワンルームタイプ(照明設備、空調設備、IH調理機、机、椅子およびベッドは常設)で、居室数は、男子用144室、女子用128室の合計272室ですが、入居対象を学部の1年生と2年生に限定しているため、例年約半数の居室数分を募集しています。

入居を希望される方は、令和4年11月頃に学生宿舎Webページで公表される『令和5年度 埼玉大学学生宿舎入居者募集要項』を確認のうえ、『インターネットの申請フォーム』により申請してください。

インターネットの申請フォームによる申請が難しい場合には埼玉大学学生支援課へお問い合わせください。(TEL 048-858-3944)

令和5年度学生宿舎入居申請出願期間

令和5年2月中旬～下旬(予定) ※1週間程度

一般選抜の受験生を含めて選考を行っているため、出願期間を上記のとおり設定しています。

詳細は令和4年11月頃に公表される『令和5年度 埼玉大学学生宿舎入居者募集要項』で確認してください。

★ 埼玉大学学生宿舎Webページアドレス(URL)

https://park.saitama-u.ac.jp/~student_support/seikatsu/syukusya/



学生宿舎ページコード

※ 入居希望者が募集人員より多くなることが予想されます。入居が許可されない場合に備えて、他の住居(民間アパート等)についても考慮しておいてください。

XII インターネット出願について

インターネット出願の流れ

出願完了までの流れは、以下の通りです



STEP
1

事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。(スマートフォン、タブレットは非推奨)
必要書類※は、発行まで時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

※必要書類…調査書、推薦書、写真データなど

STEP
2

インターネット出願サイトにアクセス

インターネット出願サイト ▶ <https://e-apply.jp/ds/saitama-n/>
または、
大学ホームページ ▶ <http://www.saitama-u.ac.jp/>
からアクセス

※出願期間の1週間前から入力・登録可能

STEP
3

マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。
なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。

①初めて登録する方は「マイページ登録」からログインしてください。

②メールアドレスの登録を行って「仮登録メールを送信」をクリックしてください。

③ユーザー登録画面から「ログインページへ」をクリックしてください。

④登録したメールアドレスに初期パスワードと本登録用URLが届きます。
※@e-apply.jpのドメインからのメールを受信できるように設定してください。

⑤ログイン画面から登録したメールアドレスと④で届いた『初期パスワード』にて「ログイン」をクリックしてください。

⑥初期パスワードの変更を行ってください。

⑦表示された個人情報を入力して「次へ」をクリックしてください。

⑧個人情報を確認して「この内容で登録する」をクリックしてください。



⑨ 登録完了となります。
マイページへ
をクリックしてください。



⑩ 上記ページが表示されたら
マイページ登録は完了です。

※出願受付中の場合のみ、出願手続きを行う ボタンをクリックすると出願手続きに進めます。
登録期間外の場合は、これより先に進みませんので ログアウト ボタンをおしてください。

STEP

4

出願内容の登録

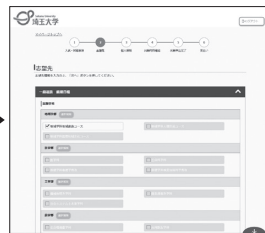
画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。



① マイページログイン後の
出願手続きを行う ボタン
から登録画面へ



② 入試選択と留意事項の確認



③ 志望学部等の選択
※続いて、入学検定料免除申請の有無、
経歴の入力があります。



④ 顔写真のアップロード
写真選択へ ボタンをクリックし
写真を選択します。



⑤ 個人情報(氏名・住所等)の
入力



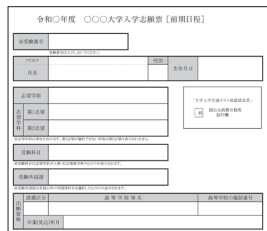
⑥ 出願内容の確認



⑦ 申込登録完了
引き続き支払う ボタンを
クリックし検定料のお支払い画面へ。



⑧ 入学検定料の支払い方法
● コンビニエンスストア
● ペイジー対応銀行ATM
● ネットバンキング ● クレジットカード



⑨ 出願に必要な書類PDF
(イメージ)
※ 検定料納入後に出力可能となります。

入学検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

セブン-イレブンの場合

払込票番号 メモ(13桁)													
------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合

オンライン決済 番号メモ(11桁)										
----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ペイジー対応銀行ATMの場合

お客様番号 メモ(11桁)									
確認番号 メモ(6桁)									

収納機関番号 (5桁)	5	8	0	2	1
----------------	---	---	---	---	---

※ 収納機関番号は、ペイジーでお支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を許可してください。 ※ 確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。



申込登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、入学検定料支払い前であれば正しい出願内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。

※「入学検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

入学検定料の支払い

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA, Master, JCB, AMERICAN EXPRESS, MUFGカード, DCカード, UFJカード, NICOSカード



出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

インターネットで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

●店頭端末を利用して支払い可能

セブン-イレブン

Loppi

LAWSON

MINI STOP



マルチコピー機
または
Famiポート

あなたと、コンビニに。
FamilyMart



4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

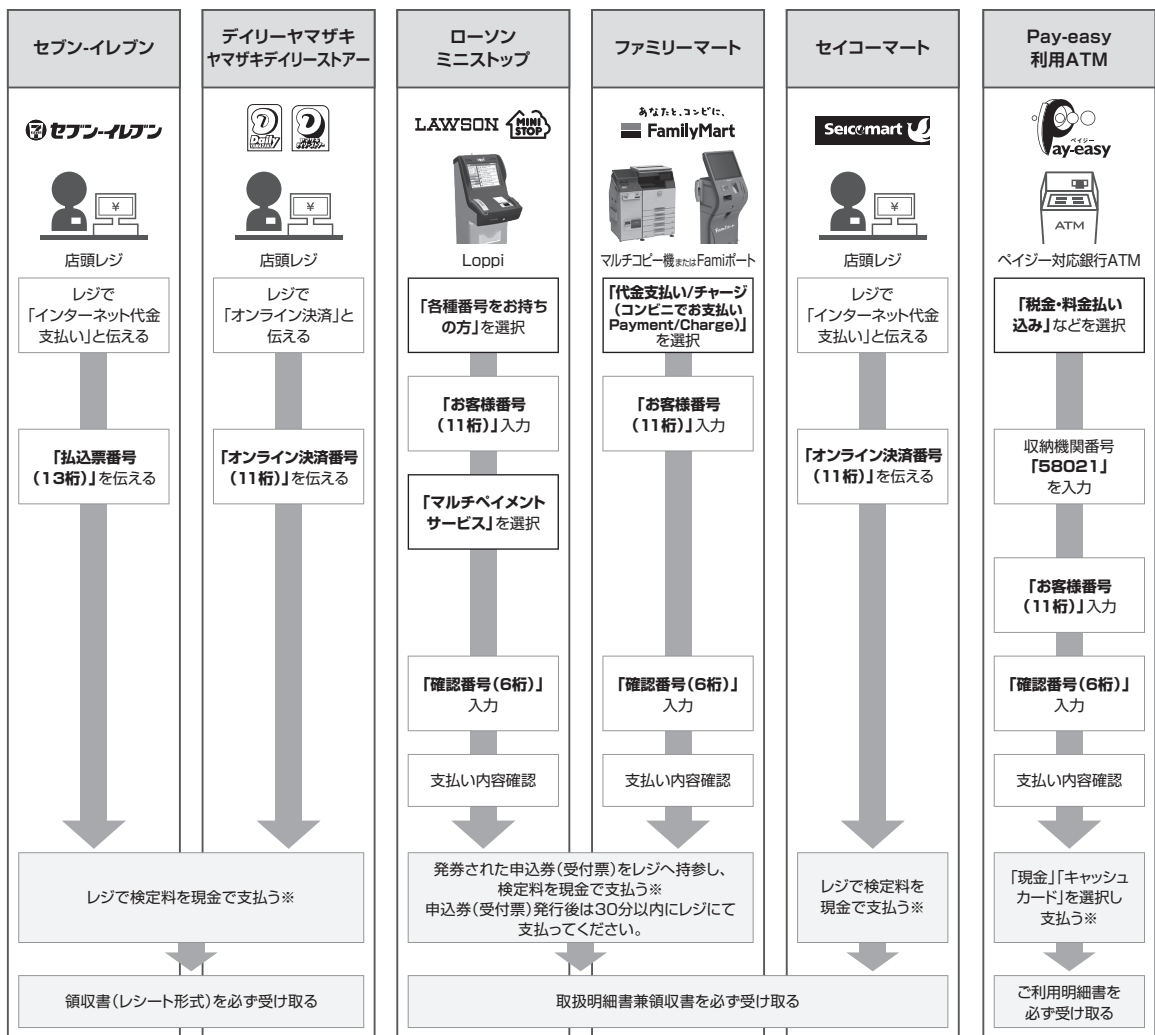
出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。



※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア



※ゆうちょ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

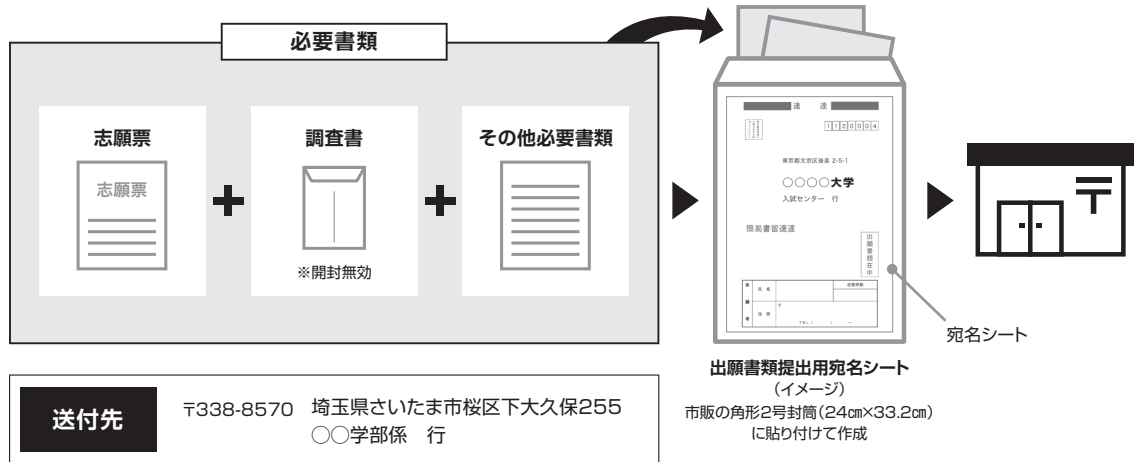
STEP

6

必要書類の印刷と郵送

登録だけでは出願は完了していませんので注意してください。

出願登録、入学検定料の支払後にダウンロードできる書類を印刷し、その他の必要書類と併せて郵便局窓口から「簡易書留速達郵便」で郵送してください。※出願期間内必着です。



「出願書類」の印刷方法



お支払いが正常に完了すると **出願書類(印刷)** のボタンが表示されるので、クリックして志願票・宛名シート等を出力してください。

■出願書類

詳細は本学HPで公表している学生募集要項で確認してください。

※出願受理した入学検定料・必要書類は一切返却しません。

〈出願完了〉

出願時の
注意点

出願はインターネット出願サイトでの登録完了後、入学検定料を支払い、必要書類を郵送して完了となります。登録だけでは出願は完了していませんので注意してください。

インターネット出願は24時間可能です。ただし、出願期間最終日の出願登録、入学検定料の支払は、17時(営業時間はコンビニエンスストアやATMなど、施設によって異なります)までとなりますが、必要書類の郵送は各募集要項で定められた期間内に必ず到着するよう、ゆとりを持った出願を心がけてください。

STEP

7

受験票の印刷

*出願締切後にご登録のメールにご連絡します。

本学で出願を確認後、各入試毎に**出願期間受付終了後から試験前日までに一斉に受験票を配信します**。インターネット出願システムよりダウンロードできる状態にしますので、**必ず印刷し、試験当日持参してください(※郵送はいたしません)**。

※受験票のダウンロードが可能になりましたら、出願時に登録したアドレスへメールで通知します。

【印刷に関する注意事項】 受験票は必ずA4用紙に**片面印刷**してください。



※インターネット出願で、入力内容の間違いに気づいた場合について

- (1)【入学検定料の支払い前の場合】再度STEP4【出願内容の登録】からお申し込み直してください。新たに【お支払いに必要な番号】が通知されるので、新しい番号で入学検定料をお支払いください。出願する書類は、必ず再度印刷した書類を提出してください。(※前回の出願内容は、お支払い期限内に入学検定料の納入がなければ自動的に削除されます。)
- (2)【入学検定料を支払った後の場合(入学検定料の免除が認められた者で入力完了した者も含む)】やり直しが出来ません。その場合は、印刷した出願書類の入力誤り部分を二重線(赤)で消して、訂正のうえで郵送してください。ただし、「希望する学部・学科等」「体育実技受験希望項目」の訂正は一切応じません。

XIII 受験票のダウンロード

(1) [総合型選抜(理学部・工学部)は令和4年9月16日(金)に]

[総合型選抜(経済学部(昼間コース))・学校推薦型選抜は令和4年11月16日(水)に]、

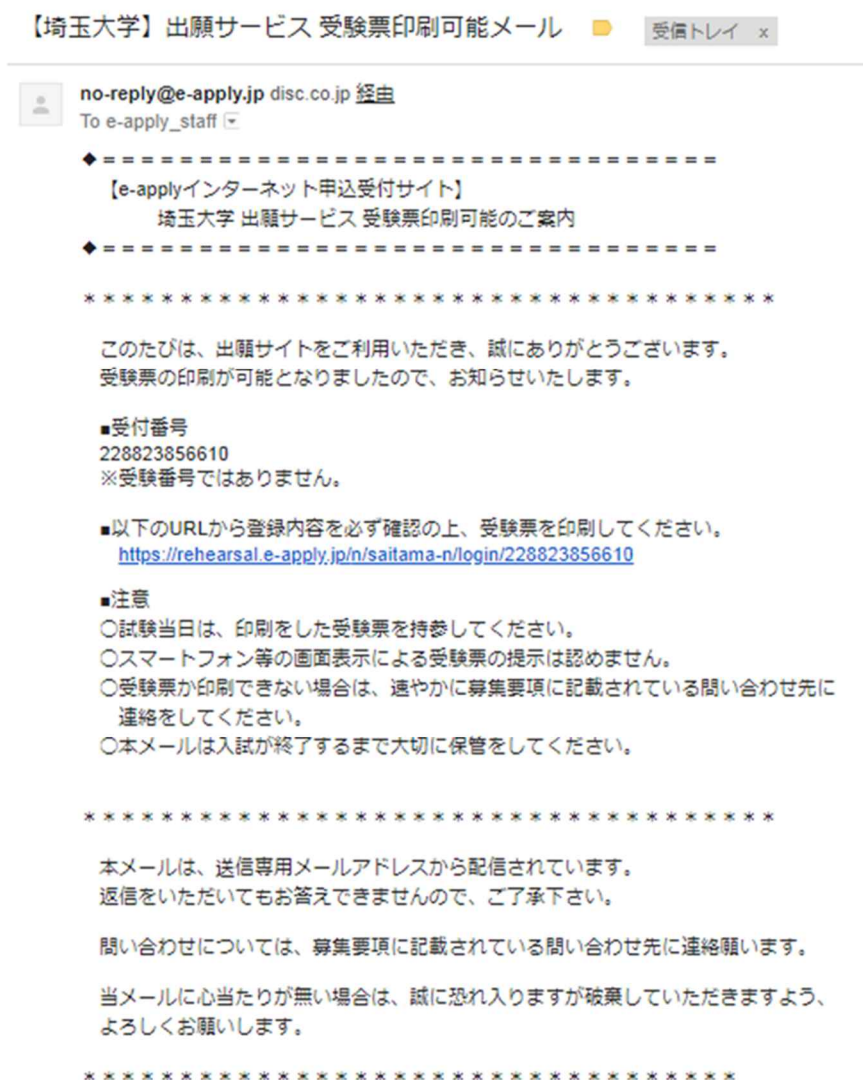
出願時に登録したメールアドレスへ「受験票ダウンロード通知メール」を送信しますので、受験票をダウンロードして印刷してください。

なお、メールが届かない場合であっても、出願が受理されていれば、同日以降に受験票のダウンロードができますので、下記【STEP2】【STEP3】を参照して受験票をダウンロードし、印刷してください。

ダウンロードした受験票の氏名等に間違いがある場合、学務部入試課へ連絡してください。

連絡先: 埼玉大学学務部入試課 【TEL 048-858-3036】

【STEP1】 志願者より郵送される出願書類を本学にて確認後、インターネット出願時に登録したメールアドレスへ以下のとおり受験票ダウンロード通知メールを送信します。



- 【STEP2】 受験票ダウンロード通知メールを受信後、マイページ画面にログインします。
マイページ画面にログインするには、マイページ登録時の【メールアドレス・パスワード】が必要になります。

The screenshot shows the Saitama University Internet Application page. At the top, there are navigation links: 合格サービス, マイページ登録, and ログイン (highlighted with a red box). Below this is a green header with menu items: 募集要項, 事前準備, お支払い方法, お問い合わせ, and 個人情報取扱方針. The main banner features the Saitama University logo and the text 'インターネット出願ページ' and 'Saitama University INTERNET APPLICATION'. Below the banner, there is a login section titled 'ログインする' with fields for 'メールアドレス' and 'パスワード', and a 'ログイン' button.

- 【STEP3】 ログイン後、受験票(PDF)をダウンロードし、カラー印刷して、試験当日に持参してください。

The screenshot shows the application page after login. It features a table with the following rows:

支払日時:	
受付番号:	
入試区分:	

Below the table, there are two buttons: '出願書類 (印刷)' and '受験票' (highlighted with a red box). A blue arrow points downwards at the bottom of the page.

- (2) 「埼玉大学受験票」及び「大学入学共通テスト受験票」は、受験、入学手続及び入試情報開示請求の際に必要となるので、大切に保管しておいてください。

XIV 合否照会システムの利用方法について

■ インターネットによる合否結果照会

1. URLの入力

URL: <https://www.gouhi.com/saitama-u/>



※バーコードリーダー対応携帯電話をお持ちの方は、右のQRコードを読み取り、表示されたURLをクリックしてインターネットに接続してください。

2. 操作手順



一般選抜、帰国生徒選抜及び私費外国人留学生選抜
についての募集要項は、令和4年11月頃に
「令和5年度埼玉大学学生募集要項」として公表する
予定です。

本募集要項についての問い合わせ先

〒 338-8570

埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学学務部入試課

TEL 048-858-3036

※ 問い合わせは、平日の9:00~17:00の間に、志願者本人が行ってください。

教養学部志願者	教養学部係	TEL 048-858-3044
経済学部志願者	経済学部係	TEL 048-858-3286
教育学部志願者	教育学部係	TEL 048-858-3144
理学部志願者	理学部係	TEL 048-858-3345
工学部志願者	工学部係	TEL 048-858-3429

インターネット出願についての問い合わせ先

■ 「学び・教育」出願・申込サービス サポートセンター

(運用会社：株式会社ディスコ) TEL : 0120-202079 E-Mail : cvs-web@disc.co.jp